

2. 市政情報の入手方法と効果的な発信について

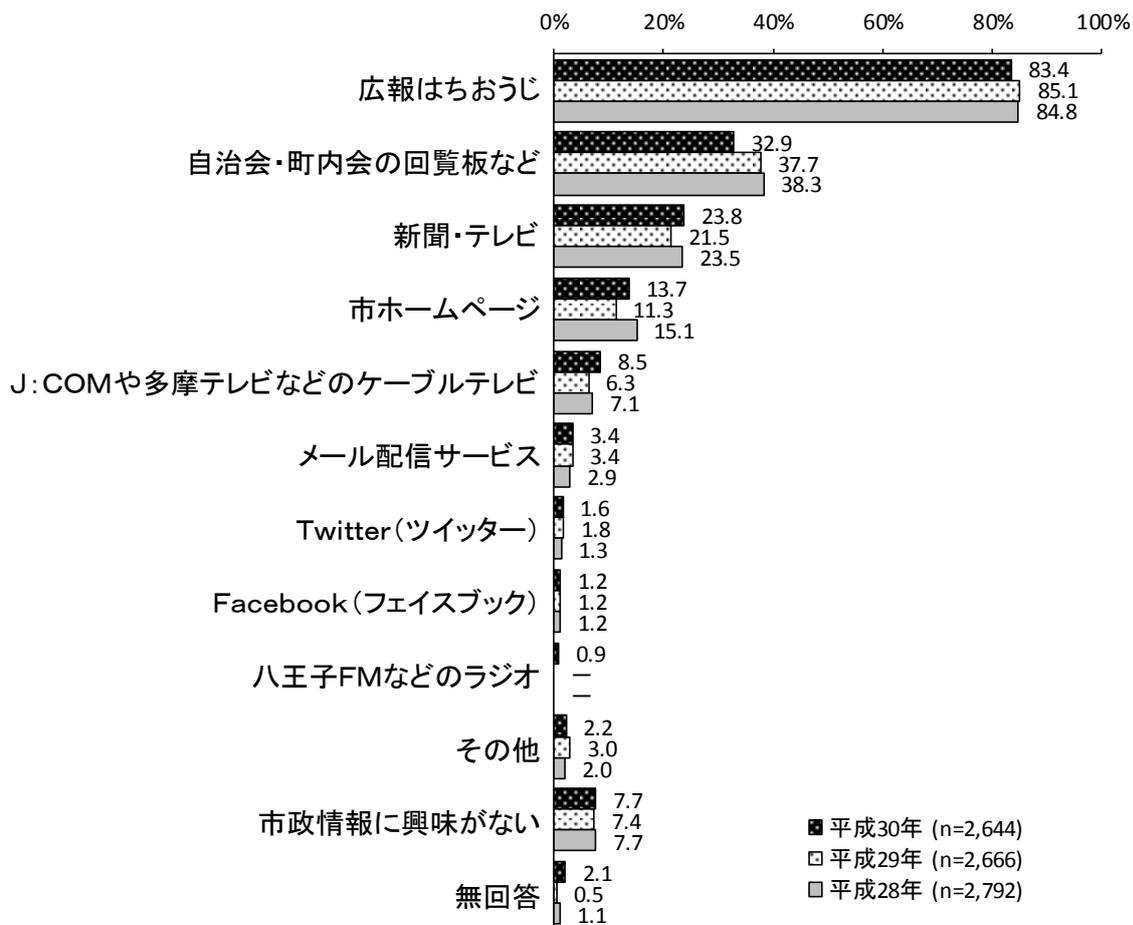
(1) 市政情報の入手方法

◇「広報はちおうじ」が8割強

問6 あなたは、市政情報（市の制度やイベントの情報など）を何から得ていますか。

(○はいくつでも)

図2-1-1 市政情報の入手方法—全体、経年比較

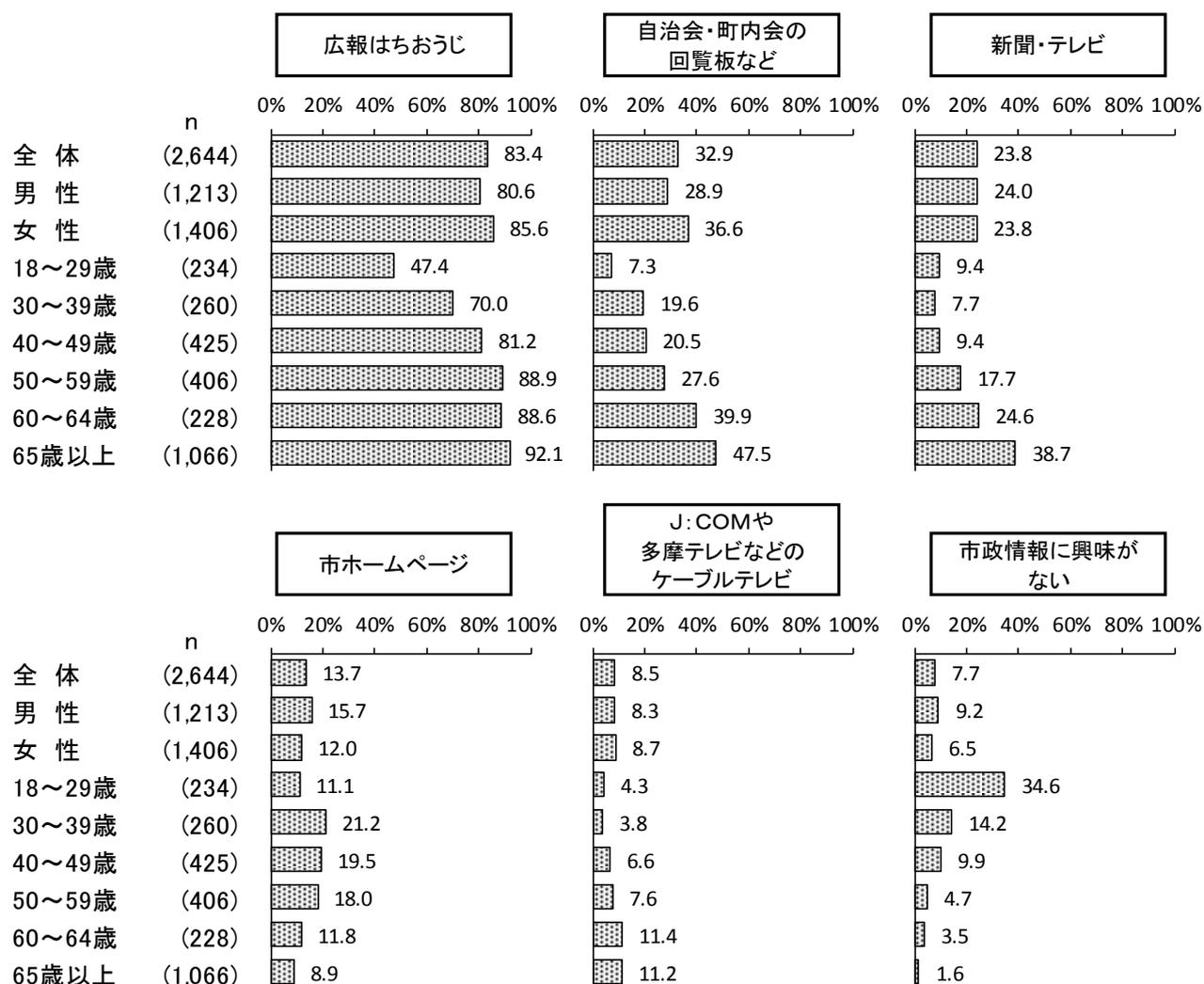


(注)「八王子FMなどのラジオ」は平成30年の新設選択肢である。

市政情報（市の制度やイベントの情報など）を何から得ているか聞いたところ、「広報はちおうじ」(83.4%)が最も多く8割強となっている。2位以下は大きく離れて、「自治会・町内会の回覧板など」(32.9%)、「新聞・テレビ」(23.8%)、「市ホームページ」(13.7%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「自治会・町内会の回覧板など」は平成29年(37.7%)より4.8ポイント減少している。(図2-1-1)

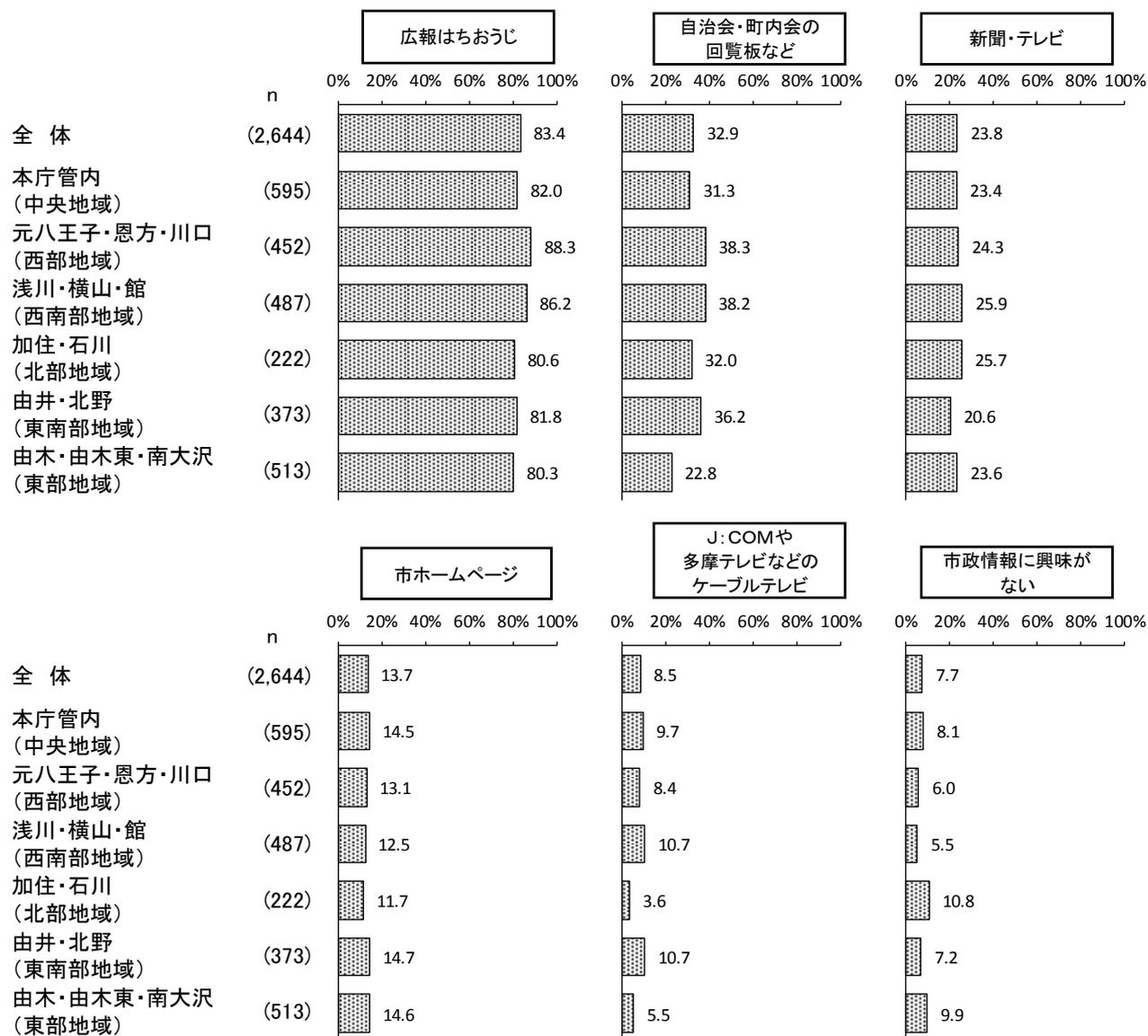
図2-1-2 市政情報の入手方法—性別、年齢別（上位5位+「市政情報に興味がない」）



性別にみると、「広報はちおうじ」は女性（85.6%）が男性（80.6%）より5.0ポイント高くなっており、「自治会・町内会の回覧板など」も女性（36.6%）が男性（28.9%）より7.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広報はちおうじ」は65歳以上（92.1%）で9割強と最も多くなっている。「自治会・町内会の回覧板など」も65歳以上（47.5%）で5割近くと多く、「新聞・テレビ」も65歳以上（38.7%）で4割近くと多くなっており、これら上位3項目は共通して年代が高まるにつれてその割合も高くなっている。（図2-1-2）

図2-1-3 市政情報の入手方法—居住地域別（上位5位+「市政情報に興味がない」）



居住地域別にみると、「広報はちおうじ」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（88.3%）と浅川・横山・館（西南部地域）（86.2%）の両地域で8割近くと多くなっている。「自治会・町内会の回覧板など」も元八王子・恩方・川口（西部地域）（38.3%）と浅川・横山・館（西南部地域）（38.2%）の両地域でともに4割近くと多くなっているが、由木・由木東・南大沢（東部地域）（22.8%）では2割強と少なくなっている。（図2-1-3）

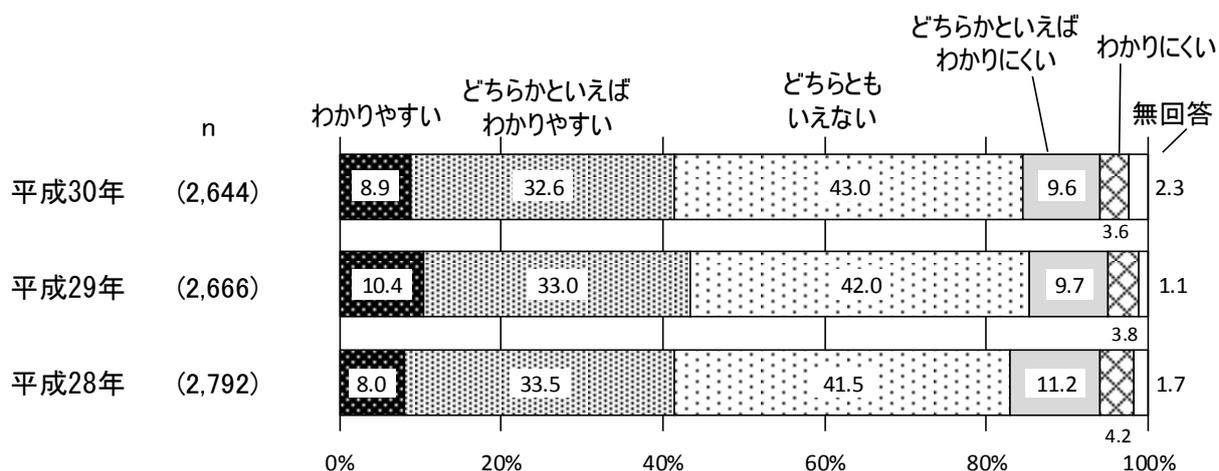
(2) 市政情報のわかりやすさ

◇《わかりやすい》が4割強

問7 あなたは、市政情報が適切にわかりやすく提供されていると思いますか。

(○は1つだけ)

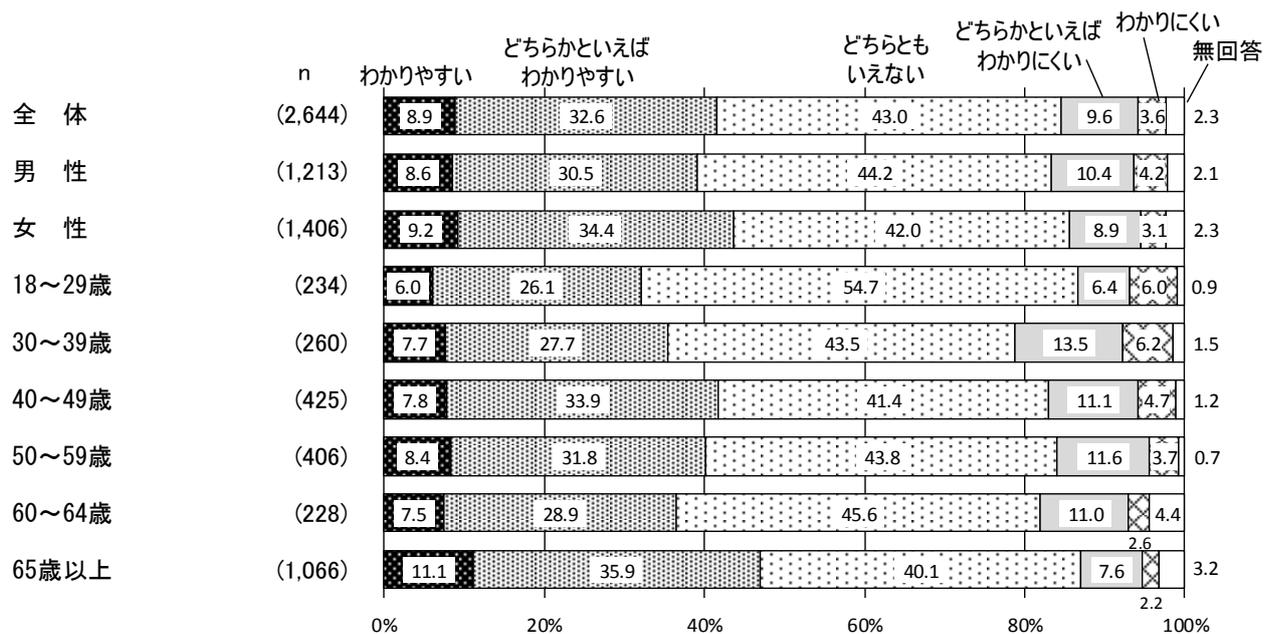
図2-2-1 市政情報のわかりやすさー全体、経年比較



市政情報が適切にわかりやすく提供されていると思うか聞いたところ、「わかりやすい」(8.9%)と「どちらかといえばわかりやすい」(32.6%)を合わせた《わかりやすい》(41.5%)は4割強となっている。一方、「どちらかといえばわかりにくい」(9.6%)と「わかりにくい」(3.6%)を合わせた《わかりにくい》(13.2%)は1割強となっている。なお、「どちらともいえない」(43.0%)は4割強となっている。

前回までの調査と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。(図2-2-1)

図 2-2-2 市政情報のわかりやすさ－性別、年齢別

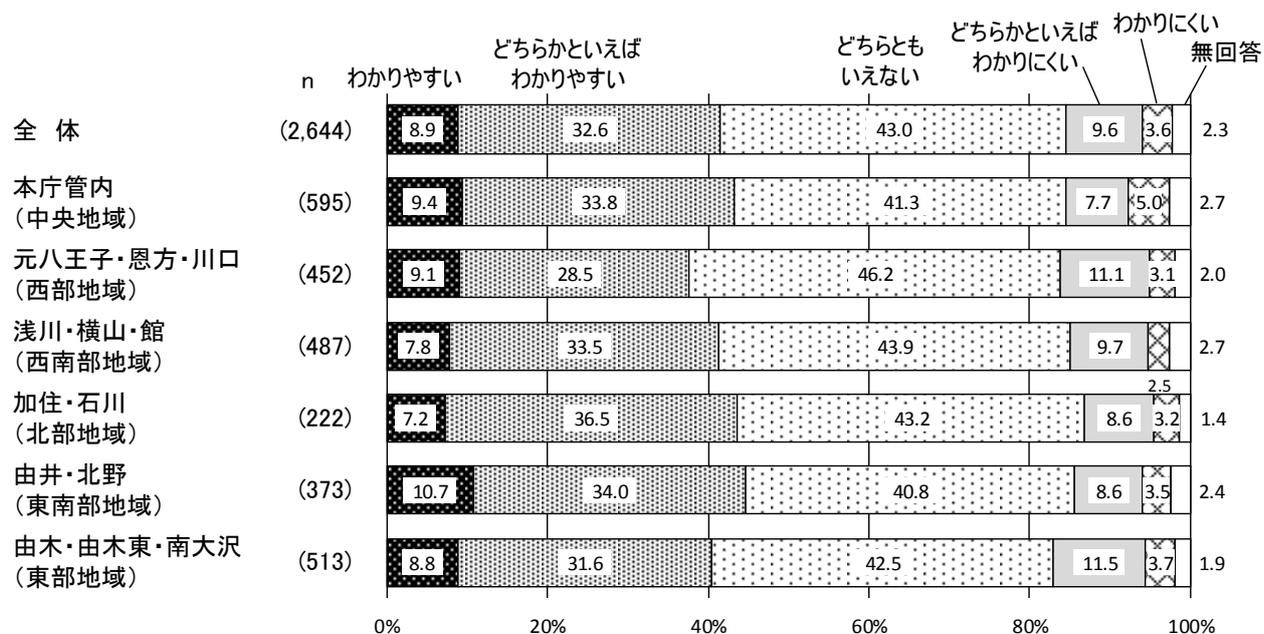


性別にみると、「わかりやすい」は女性（43.6%）が男性（39.1%）より4.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「わかりやすい」は65歳以上（47.0%）で5割近くと多くなっている。

(図 2-2-2)

図 2-2-3 市政情報のわかりやすさ－居住地域別



居住地域別にみると、「わかりやすい」は由井・北野（東南部地域）（44.7%）で4割台半ばと多くなっている。(図 2-2-3)

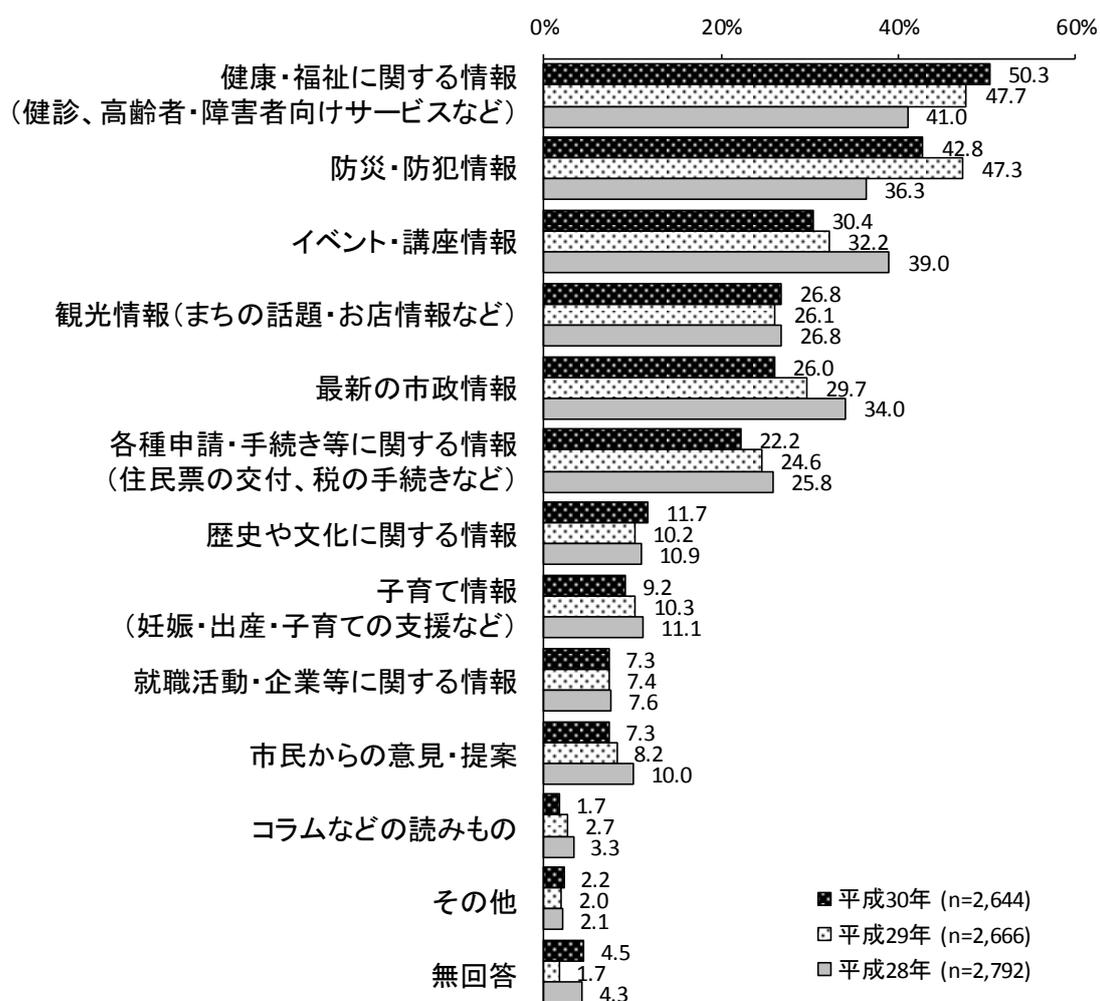
(3) 関心のある情報や発信してほしい情報

◇「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」が約5割

問8 あなたが関心のある情報、または発信してほしい情報を教えてください。

(○は3つまで)

図2-3-1 関心のある情報や発信してほしい情報—全体、経年比較

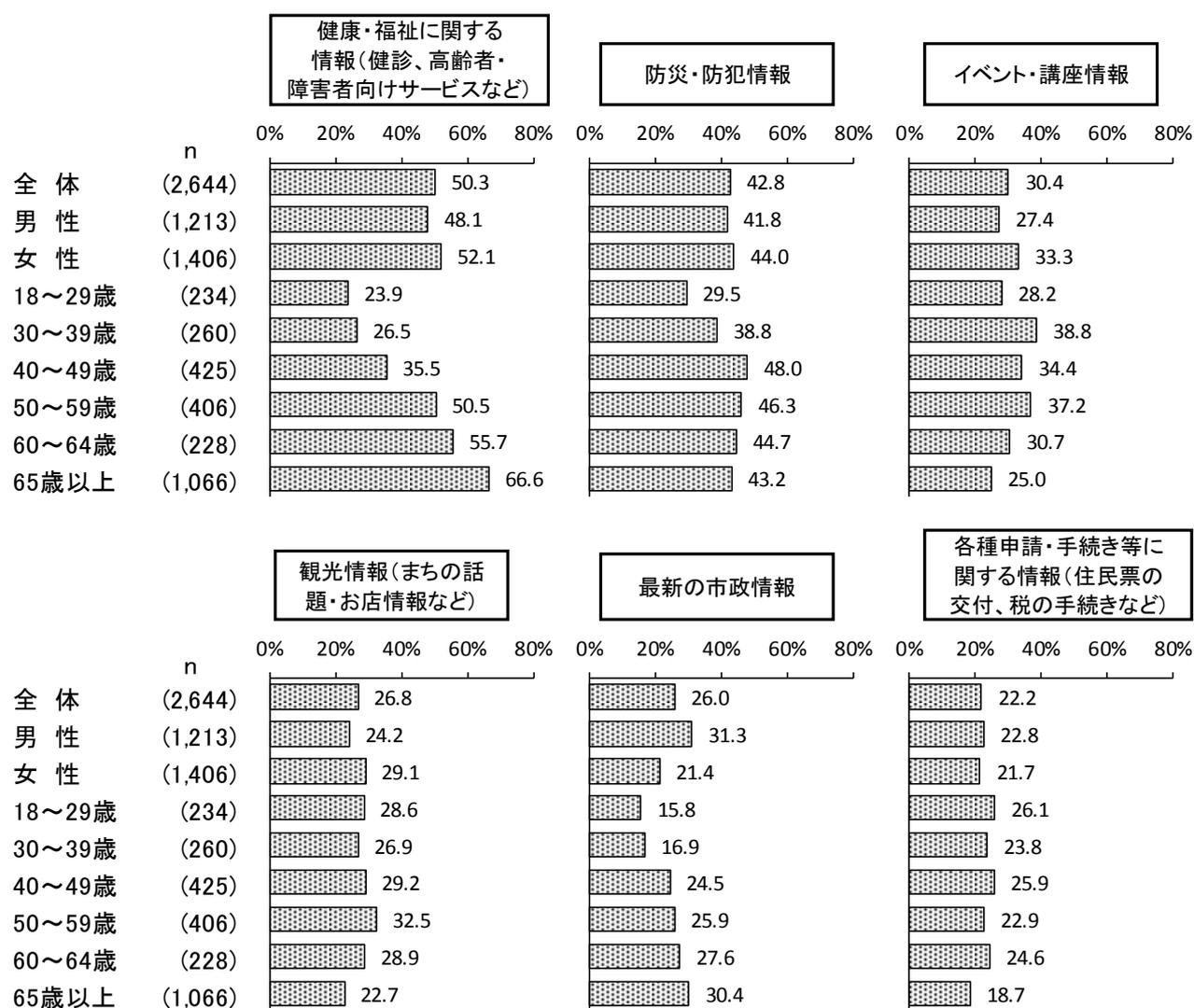


(注) 平成28年は設問文を「『広報はちおうじ』において、あなたが関心のある情報、または載せてほしい情報を教えてください。」としていた。

関心のある情報、または発信してほしい情報を聞いたところ、「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」(50.3%)が最も多く約5割となっている。以下「防災・防犯情報」(42.8%)、「イベント・講座情報」(30.4%)、「観光情報(まちの話題・お店情報など)」(26.8%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、最上位の「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」は2年続けて増加傾向にあるが、3位の「イベント・講座情報」と5位の「最新の市政情報」はともに2年続けて減少傾向にある。(図2-3-1)

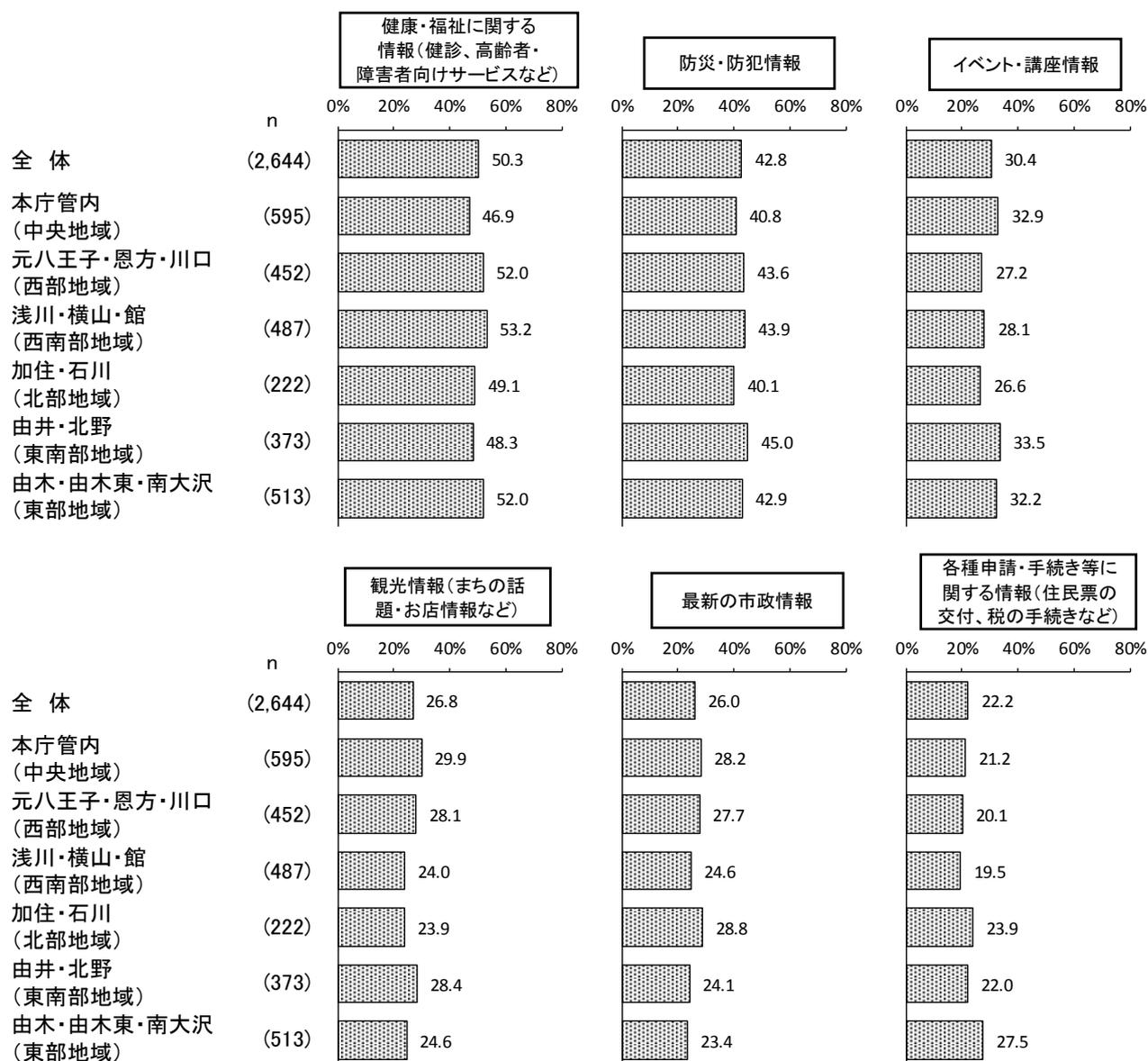
図2-3-2 関心のある情報や発信してほしい情報－性別、年齢別（上位6位）



性別にみると、「最新の市政情報」は男性（31.3%）が女性（21.4%）より9.9ポイント高くなっている。一方、「イベント・講座情報」は女性（33.3%）が男性（27.4%）より5.9ポイント高くなっており、「観光情報（まちの話題・お店情報など）」も女性（29.1%）が男性（24.2%）より4.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」は高い年代ほど割合が高くなっており、65歳以上（66.6%）で7割近くとなっている。「防災・防犯情報」は40～49歳（48.0%）と50～59歳（46.3%）で5割近くと多くっており、「イベント・講座情報」は30～39歳（38.8%）と50～59歳（37.2%）で4割近くと多くとなっている。（図2-3-2）

図2-3-3 関心のある情報や発信してほしい情報－居住地域別（上位6位）



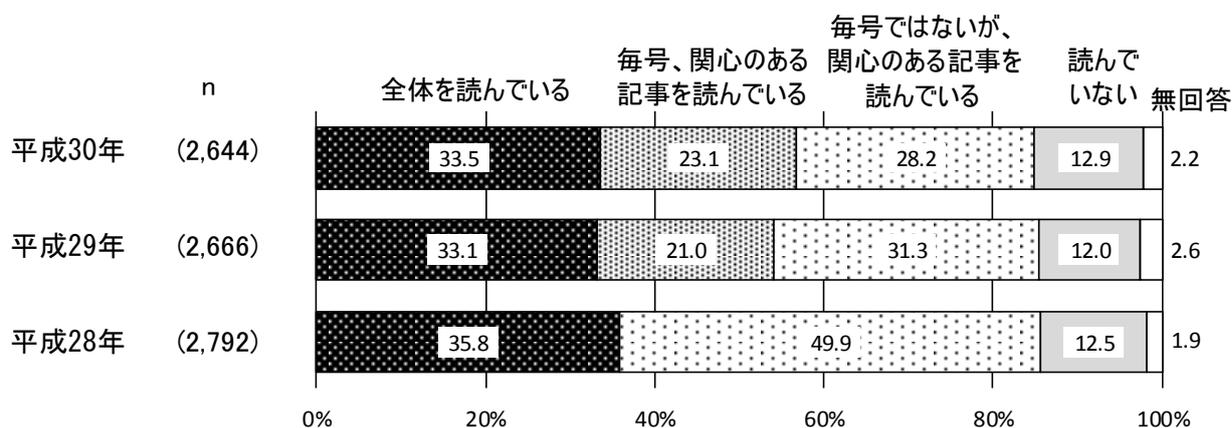
居住地域別にみると、「イベント・講座情報」で由井・北野（東南部地域）（33.5%）が、「観光情報（まちの話題・お店情報など）」で本庁管内（中央地域）（29.9%）が、「各種申請・手続き等に関する情報（住民票の交付、税の手続きなど）」で由木・由木東・南大沢（東部地域）（27.5%）がそれぞれ多くなっている。（図2-3-3）

(4) 「広報はちおうじ」の利用状況

◇《読んでいる》が8割台半ば

問9 あなたは、「広報はちおうじ」を読んでいますか。(○は1つだけ)

図2-4-1 「広報はちおうじ」の利用状況—全体、経年比較

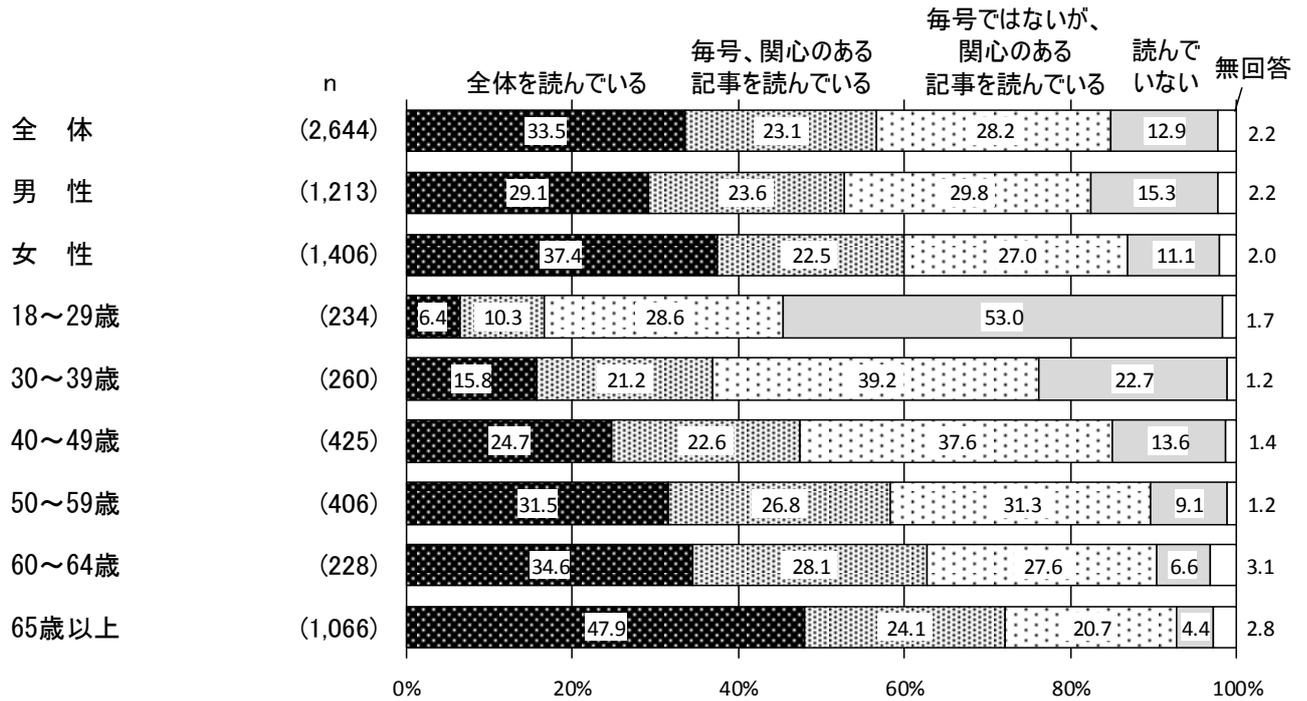


(注)「毎号、関心のある記事を読んでいる」と「毎号ではないが、関心のある記事を読んでいる」は、平成28年では「関心のある記事を読んでいる」としていた。

「広報はちおうじ」を読んでいるか聞いたところ、「全体を読んでいる」(33.5%)、「毎号、関心のある記事を読んでいる」(23.1%)、「毎号ではないが、関心のある記事を読んでいる」(28.2%)の3つを合わせた《読んでいる》(84.8%)は8割台半ばとなっている。

前回までの調査と比較すると、「全体を読んでいる」と「読んでいない」の割合は3年間に亘って大きな傾向の違いはみられない。(図2-4-1)

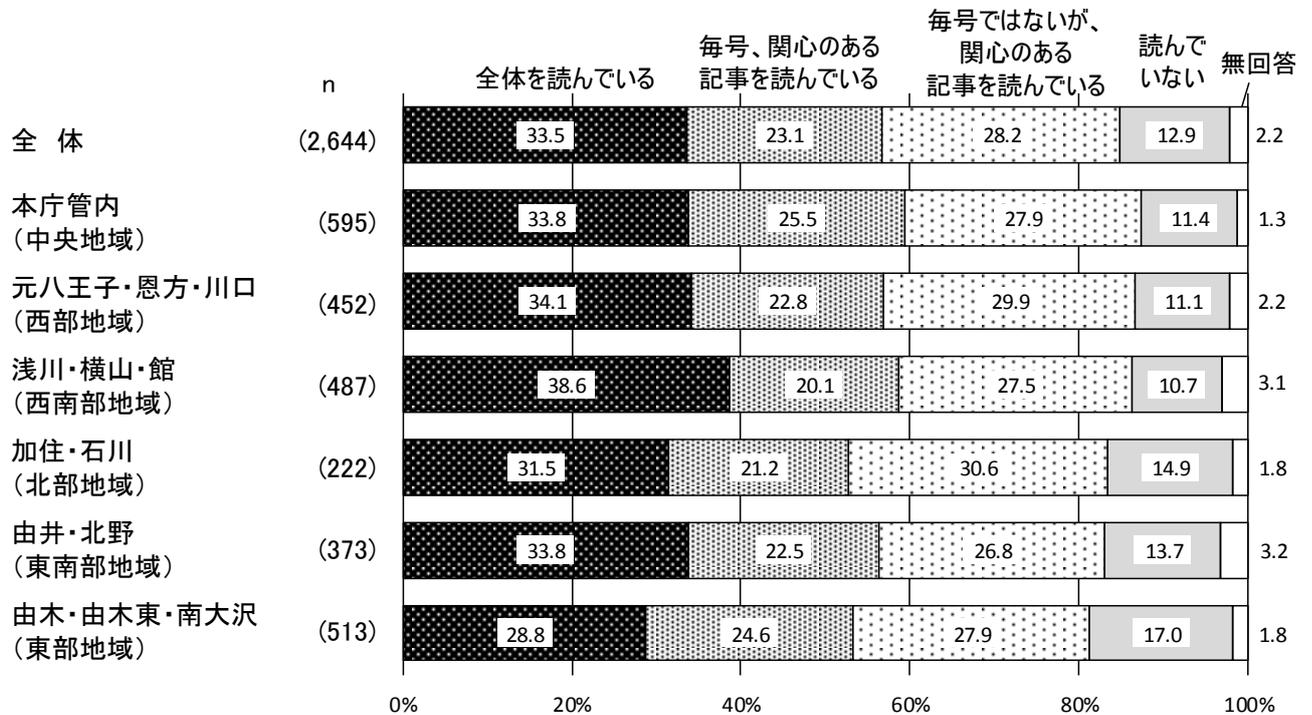
図2-4-2 「広報はちおうじ」の利用状況－性別、年齢別



性別にみると、「読んでいる」は女性（86.9%）が男性（82.5%）より4.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「読んでいる」は高い年代ほど割合が高くなっており、65歳以上（92.7%）で9割強となっている。（図2-4-2）

図2-4-3 「広報はちおうじ」の利用状況－居住地域別



居住地域別にみると、「読んでいる」は本庁管内（87.2%）で9割近くと多くなっている。

（図2-4-3）

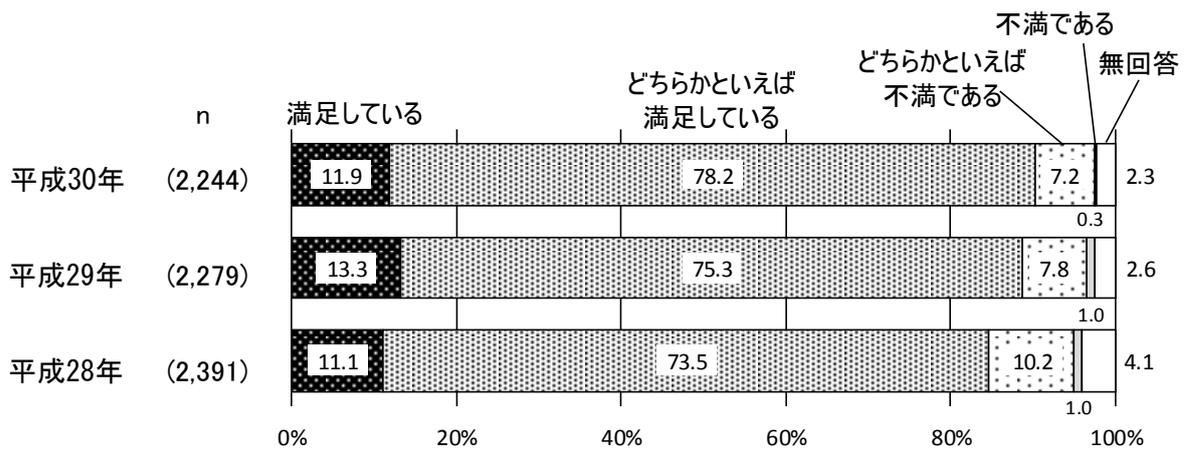
(5) 「広報はちおうじ」の満足度

◇《満足している》が約9割

(問9で「全体を読んでいる」「毎号、関心のある記事を読んでいる」「毎号ではないが、関心のある記事を読んでいる」とお答えの方に)

問9-1 「広報はちおうじ」について、感想をお選びください。(○は1つだけ)

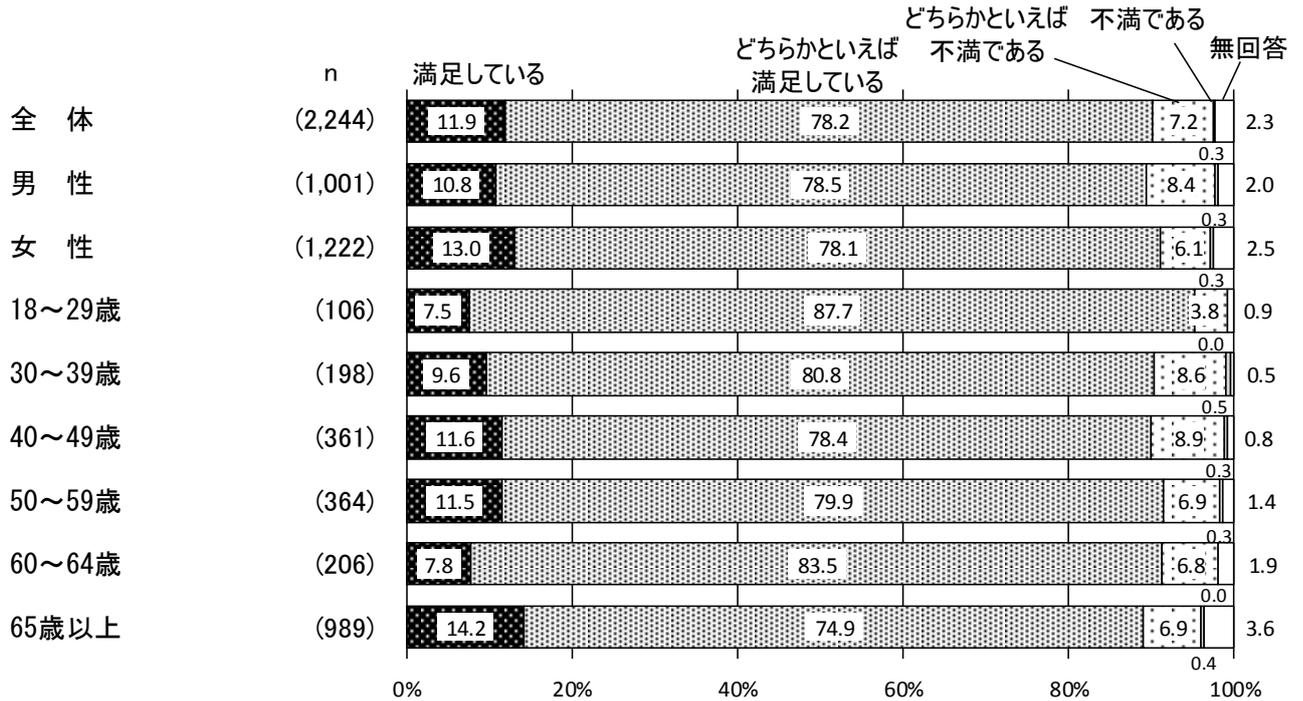
図2-5-1 「広報はちおうじ」の満足度—全体、経年比較



「広報はちおうじ」の利用状況を聞く質問に「全体を読んでいる」「毎号、関心のある記事を読んでいる」「毎号ではないが、関心のある記事を読んでいる」と回答した2,244人に、その感想を聞いたところ、「満足している」(11.9%)と「どちらかといえば満足している」(78.2%)を合わせた《満足している》(90.1%)は約9割となっている。一方、「どちらかといえば不満である」(7.2%)と「不満である」(0.3%)を合わせた《不満である》(7.5%)は1割近くとなっている。

前回までの調査と比較すると、《満足している》は2年続けて増加傾向にある。(図2-5-1)

図2-5-2 「広報はちおうじ」の満足度—性別、年齢別

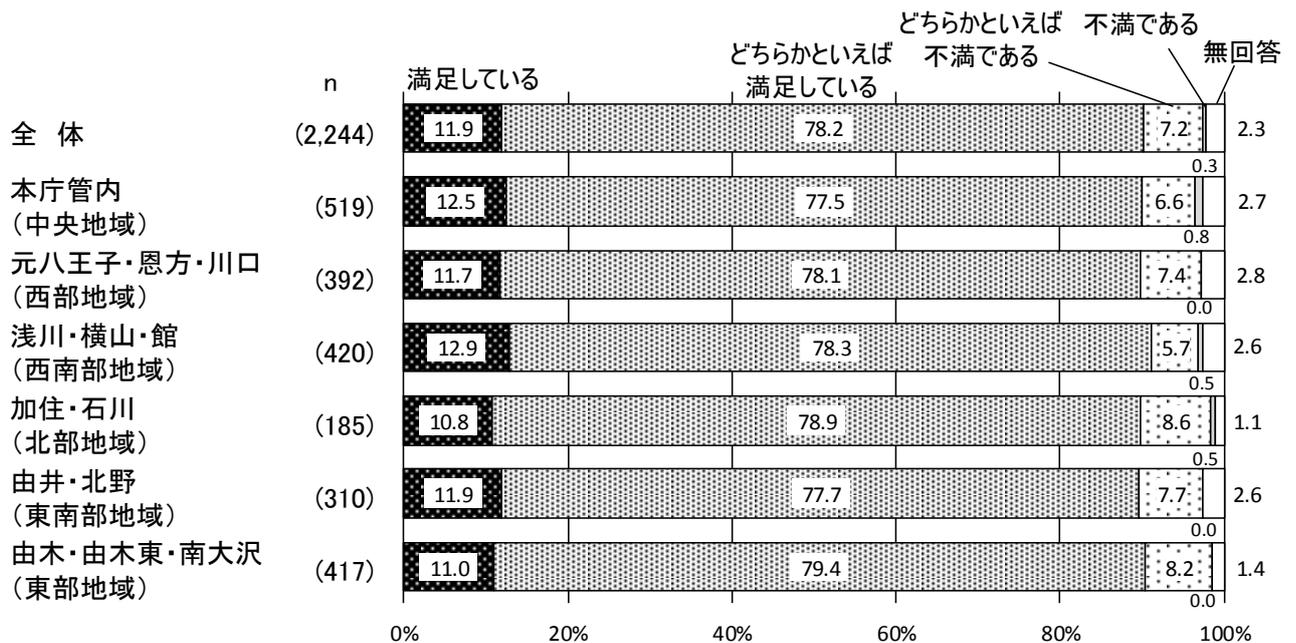


性別にみると、「不満である」は男性（8.7%）が女性（6.4%）より2.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「満足している」は18~29歳（95.2%）で9割台半ばと多くなっている。

(図2-5-2)

図2-5-3 「広報はちおうじ」の満足度—居住地域別



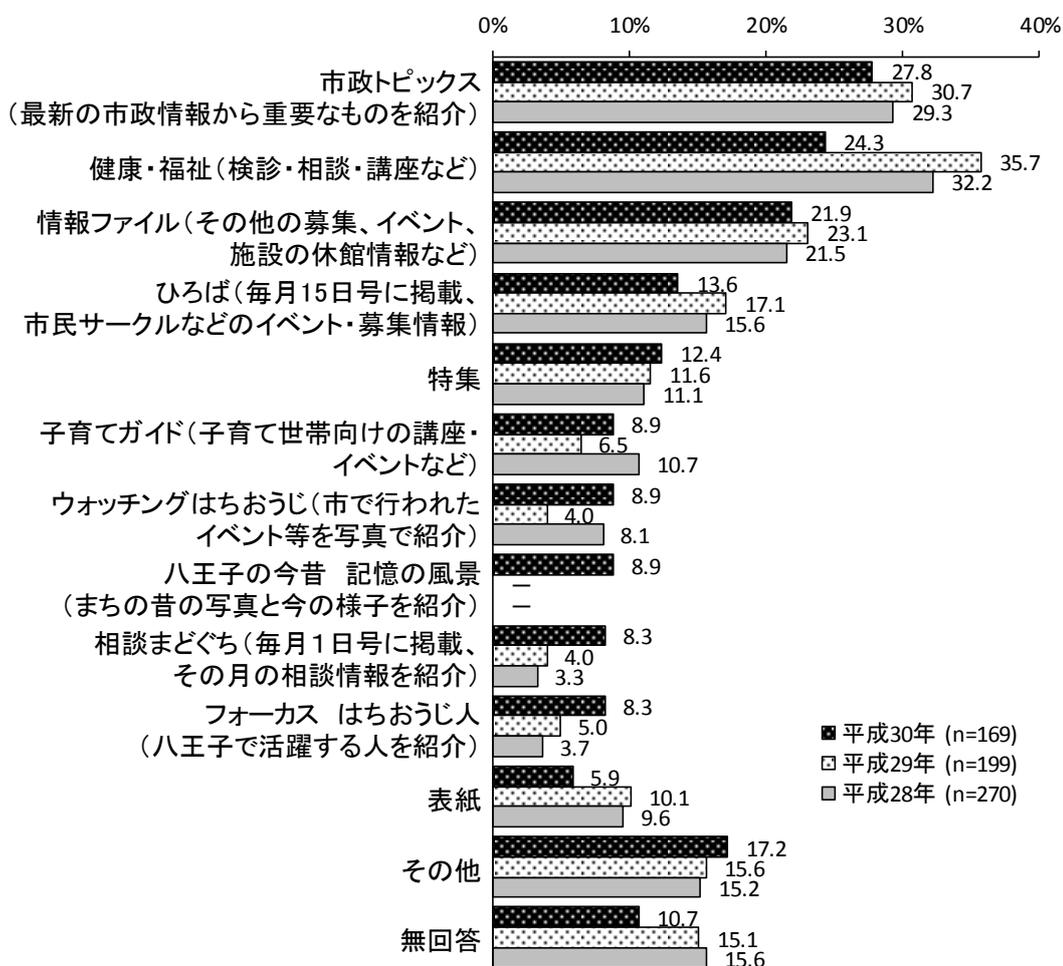
居住地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図2-5-3)

(6) 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー

◇「市政トピックス（最新の市政情報から貴重なものを紹介）」が3割近く

(問9-1で「どちらかといえば不満である」または「不満である」とお答えの方に)
問9-1-1 不満であると特に感じるコーナーを教えてください。(〇は3つまで)

図2-6-1 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー—全体、経年比較

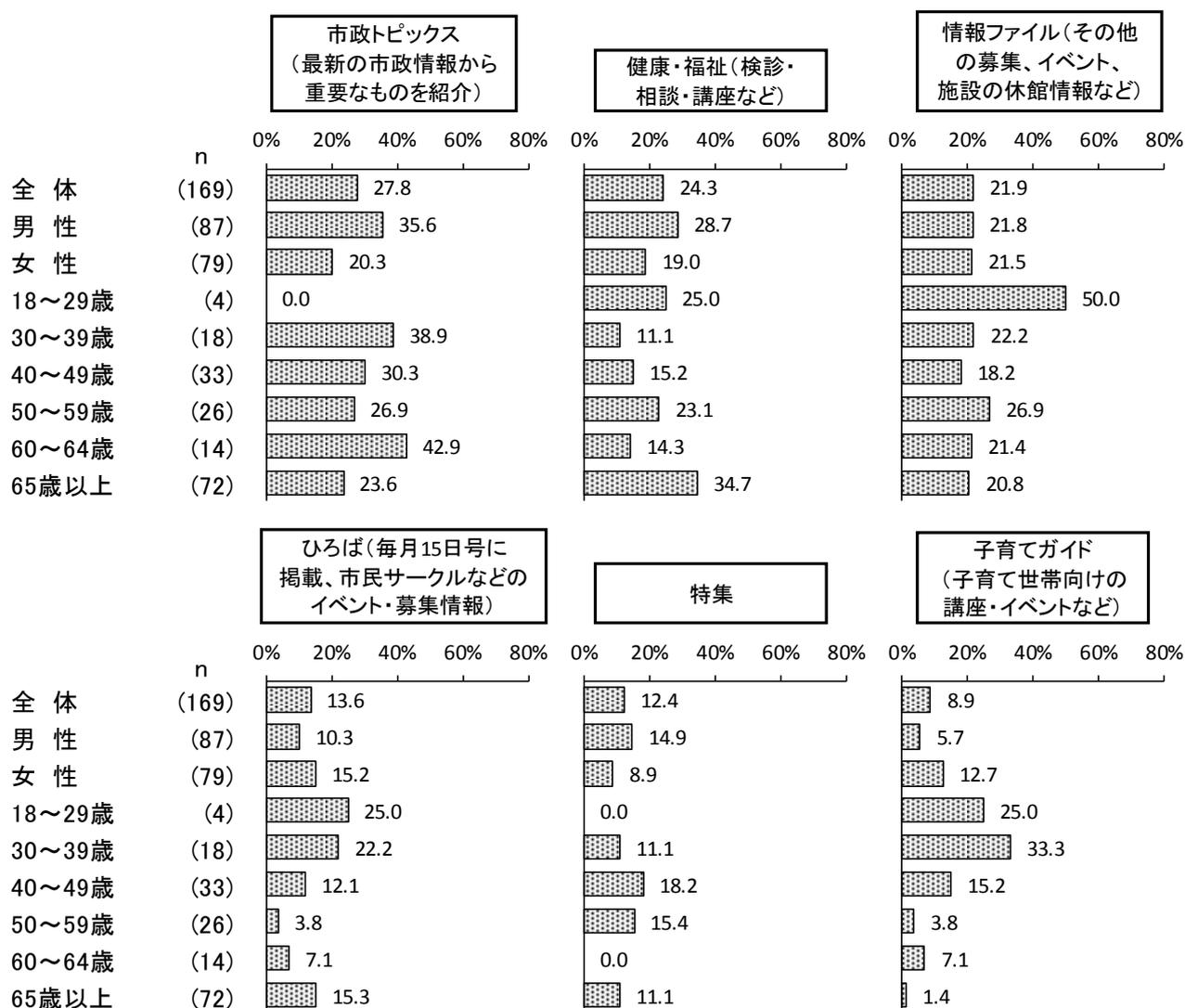


(注)「八王子の今昔 記憶の風景」は平成30年の新設選択肢である。また、「特集」「市政トピックス」「健康・福祉」「相談まどぐち」は、平成28年、29年ではそれぞれ「特集・ミニ特集」「市政インフォメーション」「健康・福祉・医療」「相談カレンダー」としていた。

「広報はちおうじ」の感想を聞く質問に「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答した169人に、特に不満を感じるコーナーを聞いたところ、「市政トピックス（最新の市政情報から重要なものを紹介）」(27.8%)が最も多く3割近くとなっている。以下「健康・福祉（検診・相談・講座など）」(24.3%)と「情報ファイル（その他の募集、イベント、施設の休館情報など）」(21.9%)が2割台で続き、上位となっている。

前回までの調査と比較すると、「健康・福祉（検診・相談・講座など）」が平成29年(35.7%)より11.4ポイント減少している。(図2-6-1)

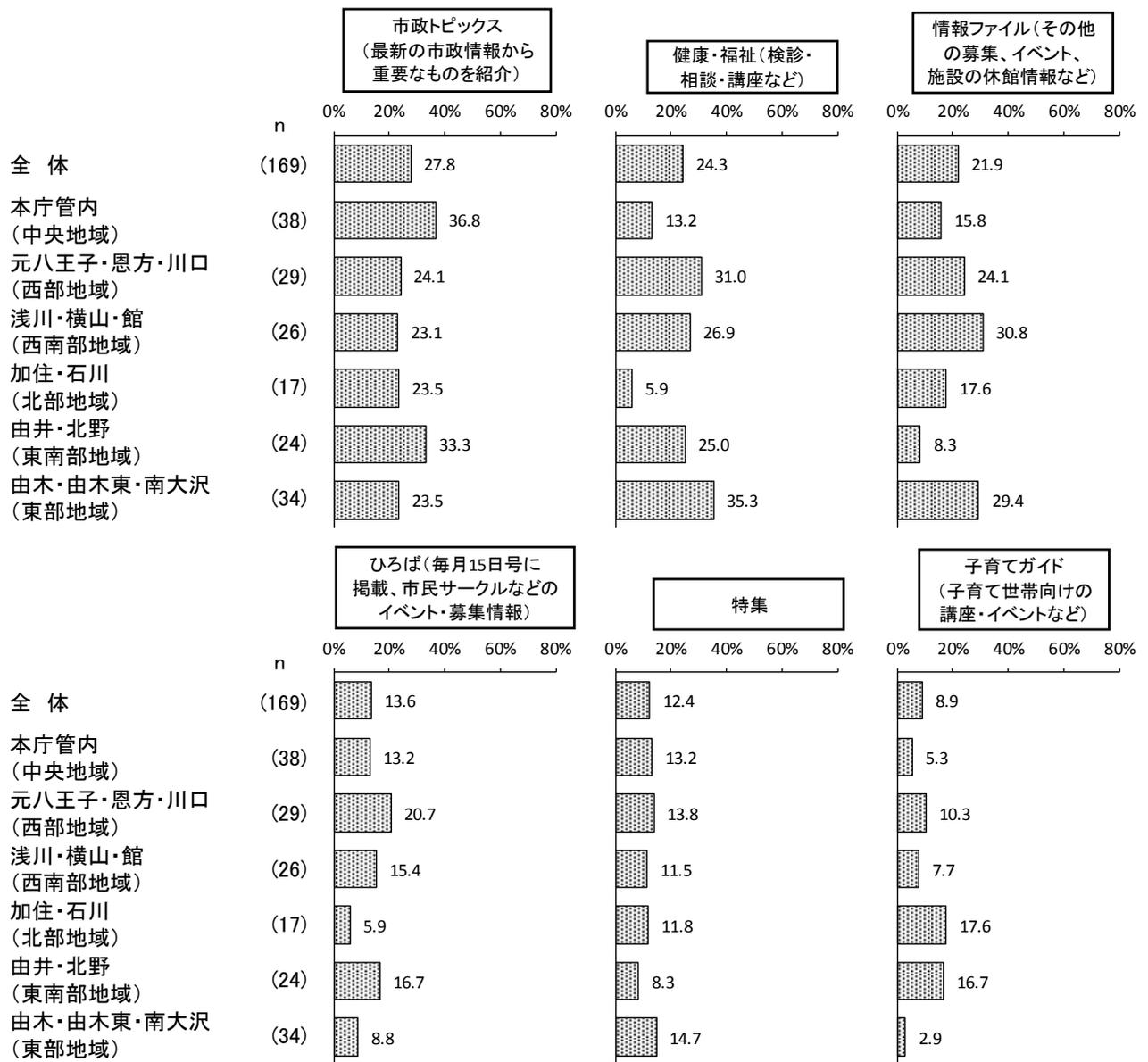
図 2-6-2 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー—性別、年齢別（上位 6 位）



性別にみると、「市政トピックス（最新の情報から重要なものを紹介）」は男性（35.6%）が女性（20.3%）より15.3ポイント高くなっており、「健康・福祉（検診・相談・講座など）」も男性（28.7%）が女性（19.0%）より9.7ポイント高くなっているが、「子育てガイド（子育て世帯向けの講座・イベントなど）」は女性（12.7%）が男性（5.7%）より7.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「健康・福祉（検診・相談・講座など）」は65歳以上（34.7%）で3割台半ばと多く、「子育てガイド（子育て世帯向けの講座・イベントなど）」は30~39歳（33.3%）で多くなっている。（図 2-6-2）

図 2-6-3 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー—居住地域別（上位 6 位）



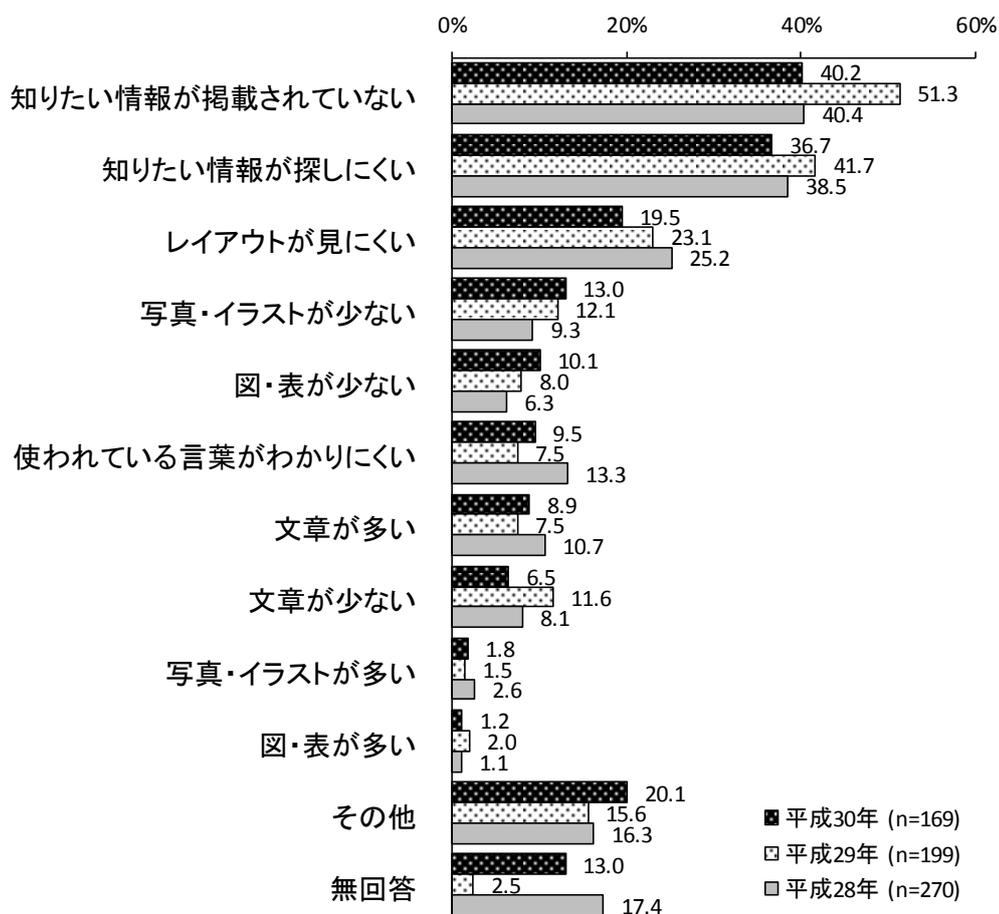
居住地域別にみると、「市政トピックス（最新の市政情報から重要なものを紹介）」は本庁管内（中央地域）（36.8%）で多く、「健康・福祉（検診・相談・講座など）」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（35.3%）で多くなっている。（図 2-6-3）

(7) 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由

◇「知りたい情報が掲載されていない」が約4割

(問9-1で「どちらかといえば不満である」または「不満である」とお答えの方に)
問9-1-2 不満であると感じる理由を教えてください。(〇はいくつでも)

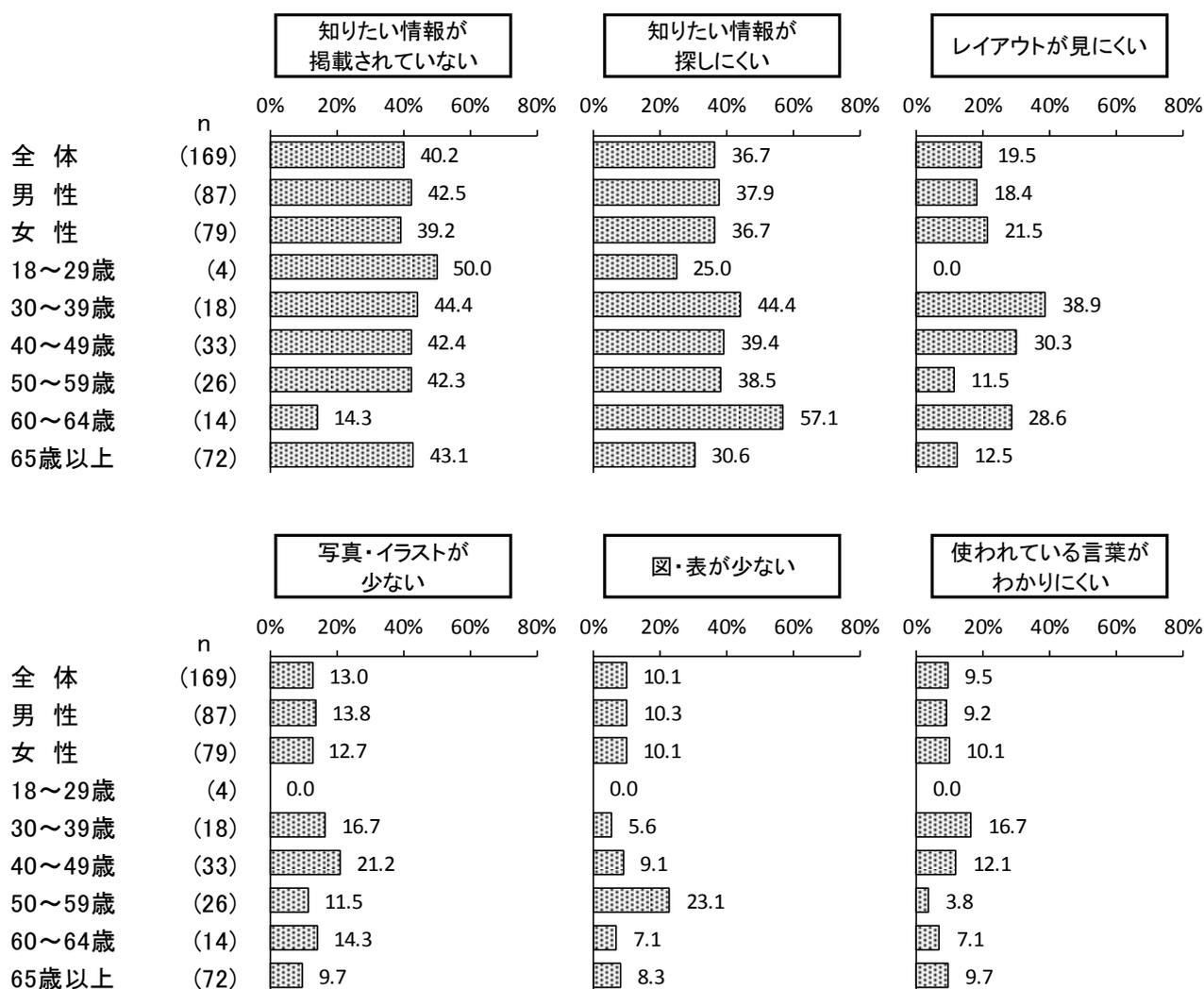
図2-7-1 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由—全体、経年比較



「広報はちおうじ」の感想を聞く質問に「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答した169人に、不満であると感じる理由を聞いたところ、「知りたい情報が掲載されていない」(40.2%)が最も多く約4割となっている。次いで「知りたい情報が探しにくい」(36.7%)が4割近くで続き、以下「レイアウトが見にくい」(19.5%)、「写真・イラストが少ない」(13.0%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「知りたい情報が掲載されていない」が平成29年(51.3%)より11.1ポイント減少して、平成28年(40.4%)と同程度になっている。また、「レイアウトが見にくい」は2年続けて減少傾向にある。(図2-7-1)

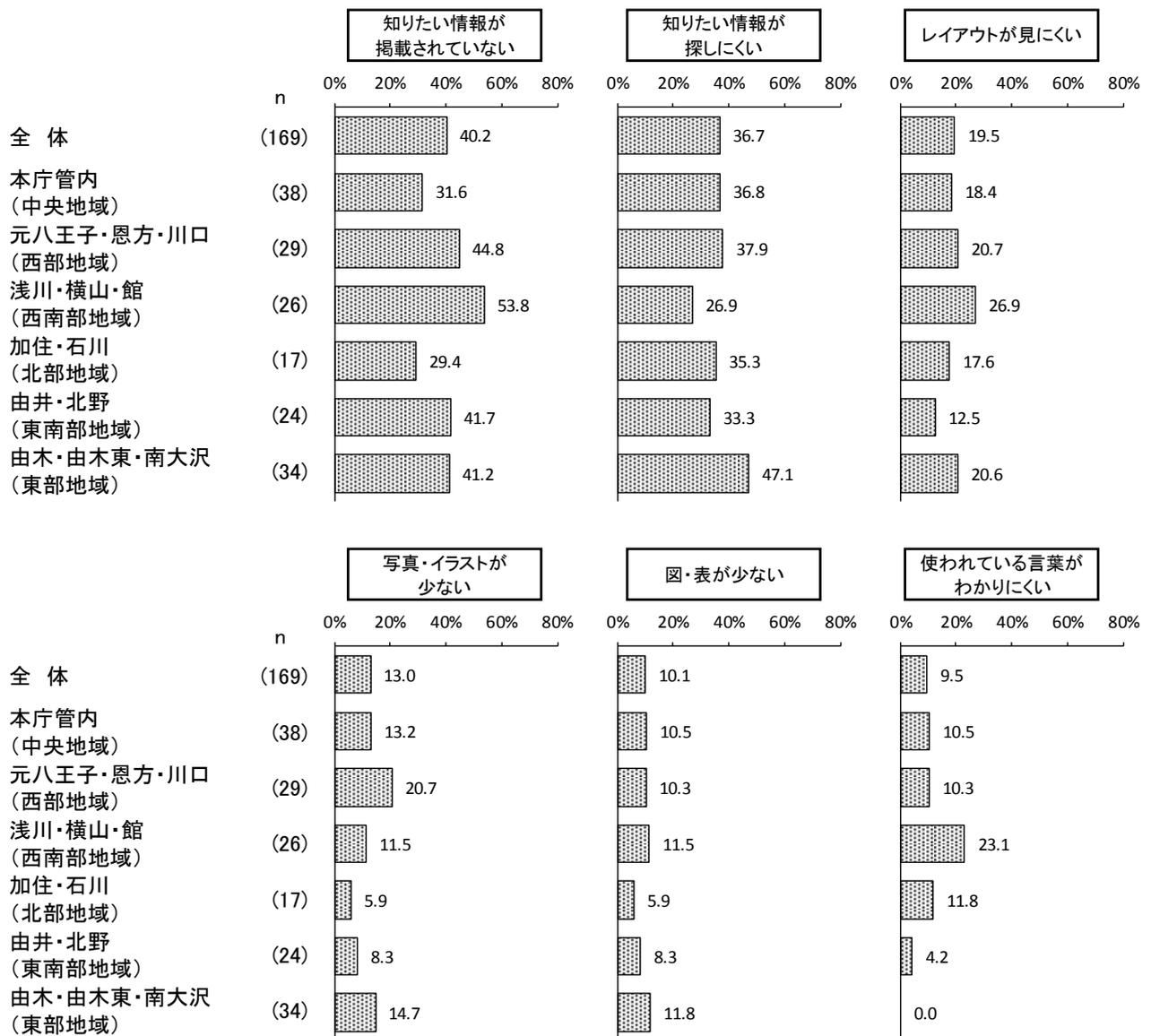
図2-7-2 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由—性別、年齢別（上位6位）



性別にみると、「知りたい情報が掲載されていない」は男性（42.5%）が女性（39.2%）より3.3ポイント高くなっているが、「レイアウトが見にくい」は女性（21.5%）が男性（18.4%）より3.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「知りたい情報が探しにくい」は60～64歳（57.1%）で、「レイアウトが見にくい」は30～39歳（38.9%）で、「図・表が少ない」は50～59歳（23.1%）で、それぞれ多くなっている。（図2-7-2）

図 2-7-3 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由—居住地域別（上位 6 位）



居住地域別にみると、「知りたい情報が掲載されていない」は浅川・横山・館(西南部地域) (53.8%) で、「知りたい情報が探しにくい」は由木・由木東・南大沢 (東部地域) (47.1%) で、「使われている言葉がわかりにくい」は浅川・横山・館 (西南部地域) (23.1%) でそれぞれ多くなっている。

(図 2-7-3)

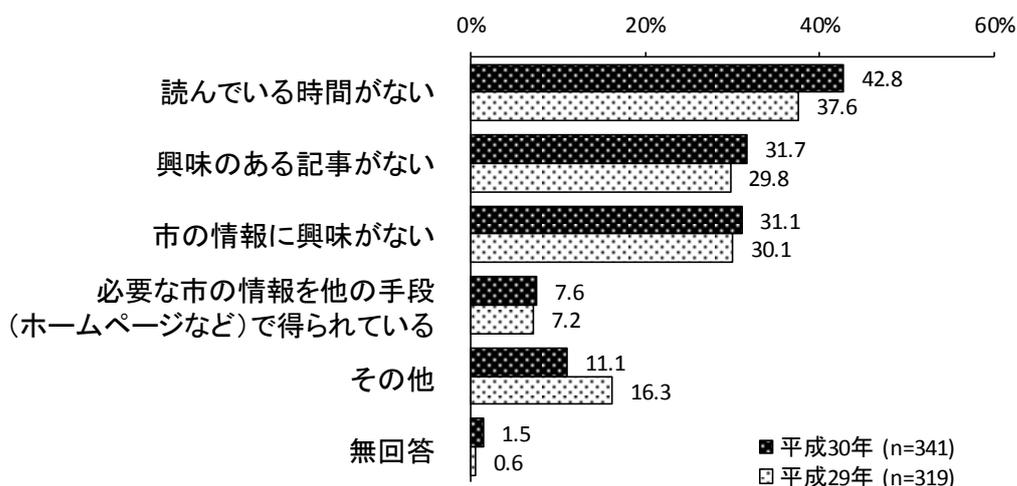
(8) 「広報はちおうじ」を読んでいない理由

◇ 「読んでいる時間がない」が4割強

(問9で「読んでいない」とお答えの方に)

問9-2 「広報はちおうじ」を読んでいない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

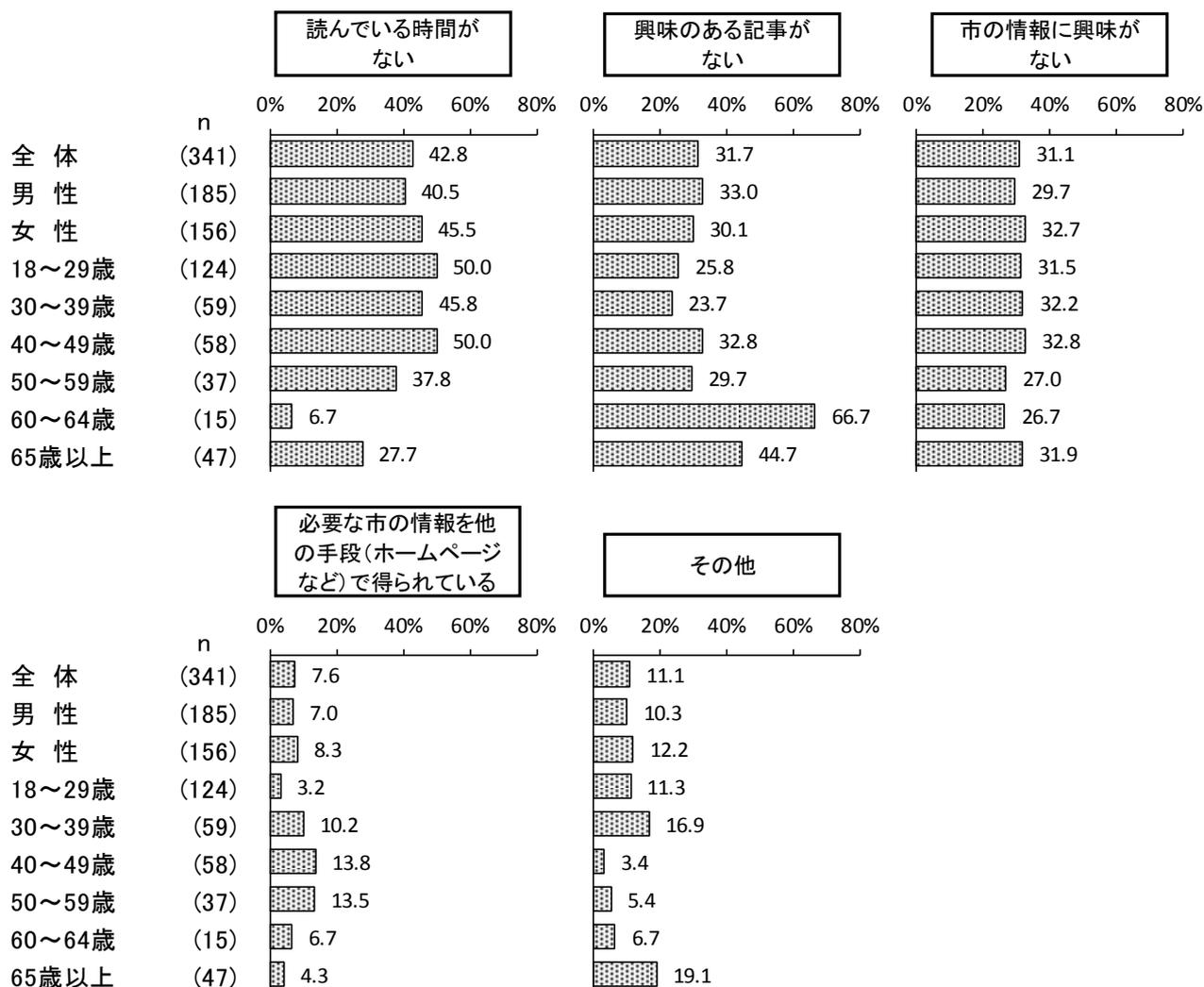
図2-8-1 「広報はちおうじ」を読んでいない理由—全体、経年比較



「広報はちおうじ」を「読んでいない」と回答した341人に、読んでいない理由を聞いたところ、「読んでいる時間がない」(42.8%)が最も多く4割強となっている。次いで「興味のある記事がない」(31.7%)と「市の情報に興味がない」(31.1%)の2項目が3割強で並んで、上位となっている。

前回の調査結果と比較すると、「読んでいる時間がない」が平成29年(37.6%)より5.2ポイント増加しているのを除くと、大きな経年変化はみられない。(図2-8-1)

図 2-8-2 「広報はちおうじ」を読んでいない理由—性別、年齢別

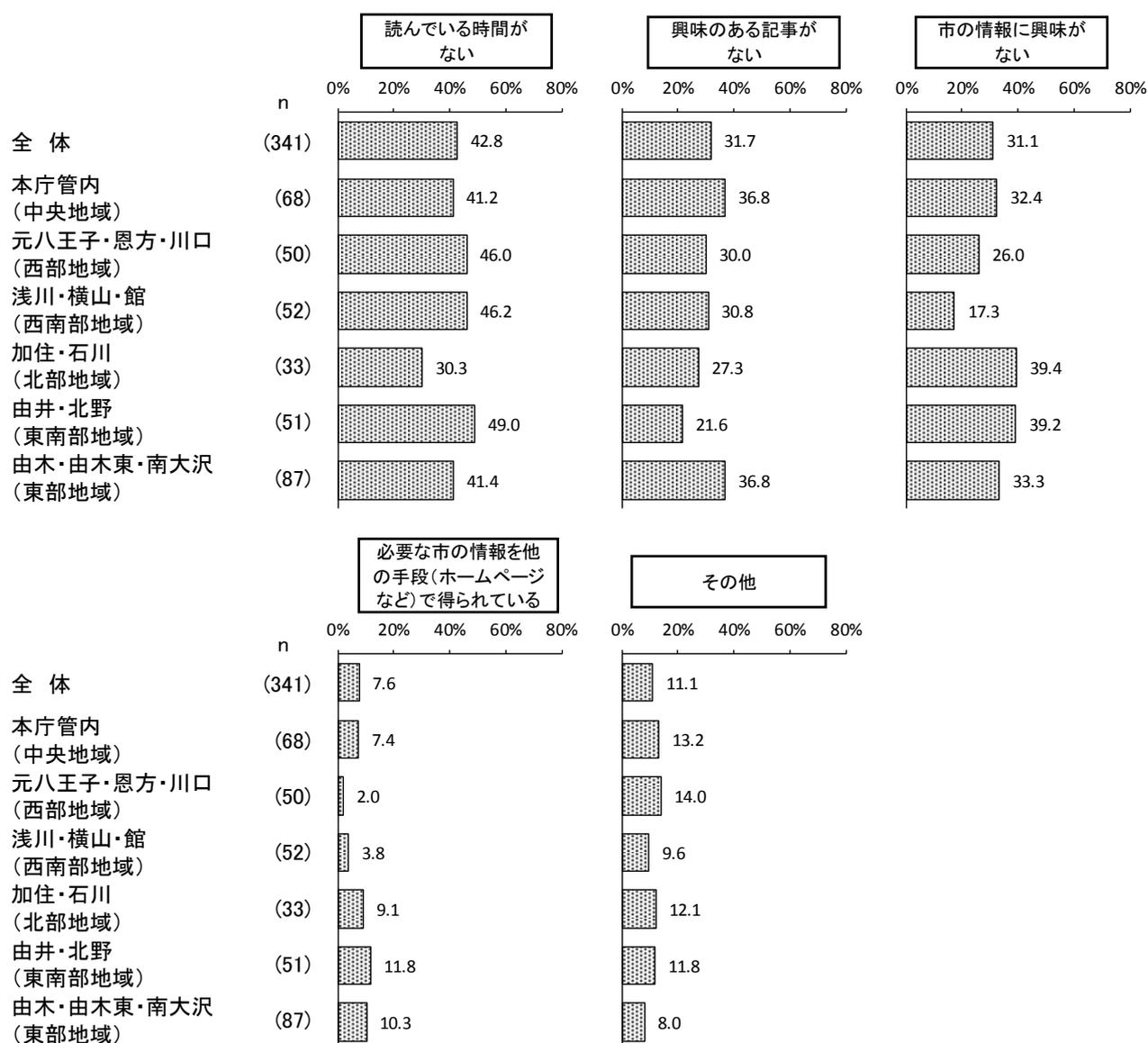


性別にみると、「読んでいない時間がない」は女性（45.5%）が男性（40.5%）より5.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「興味のある記事がない」は60～64歳（66.7%）で7割近くと多くなっている。

（図 2-8-2）

図 2-8-3 「広報はちおうじ」を読んでいない理由—居住地域別



居住地域別にみると、「読んでいる時間がない」は由井・北野（東南部地域）（49.0％）で5割弱と多い一方、加住・石川（北部地域）（30.3％）で約3割と少なくなっている。「市の情報に興味がない」は加住・石川（北部地域）（39.4％）と由井・北野（東南部地域）（39.2％）の両地域で4割弱と多い一方、浅川・横山・館（西南部地域）（17.3％）で2割近くと少なくなっている。

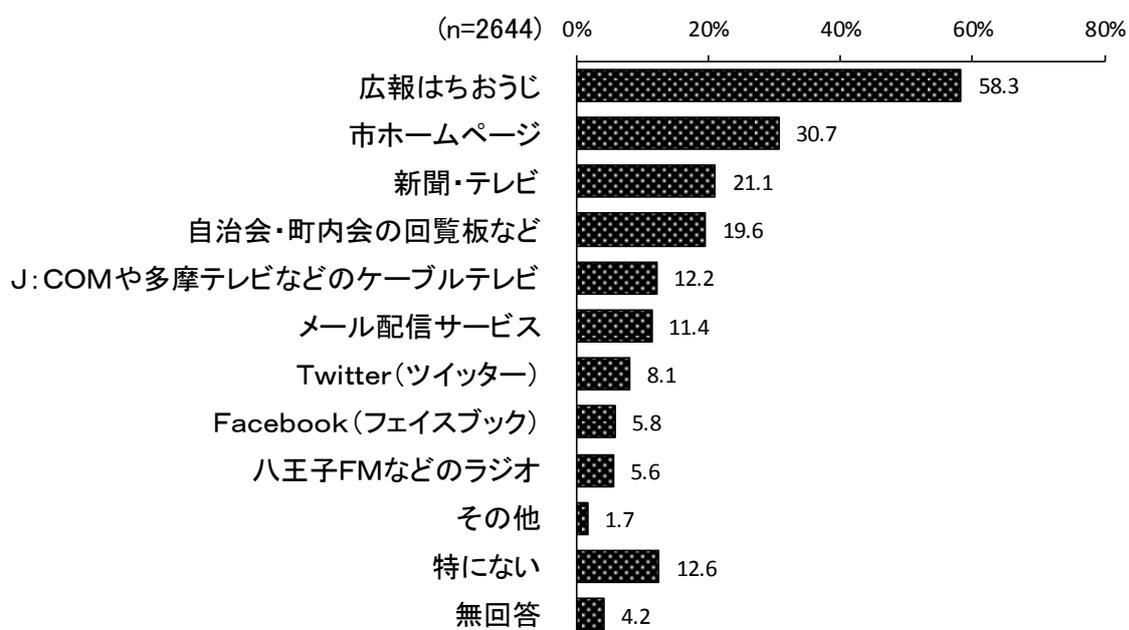
(図 2-8-3)

(9) 今後充実させた方が良い広報媒体

◇「広報はちおうじ」が6割近く

問10 今後、市が情報を発信する上で、さらに充実させた方が良いと思うもの、または、積極的に活用した方が良いと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

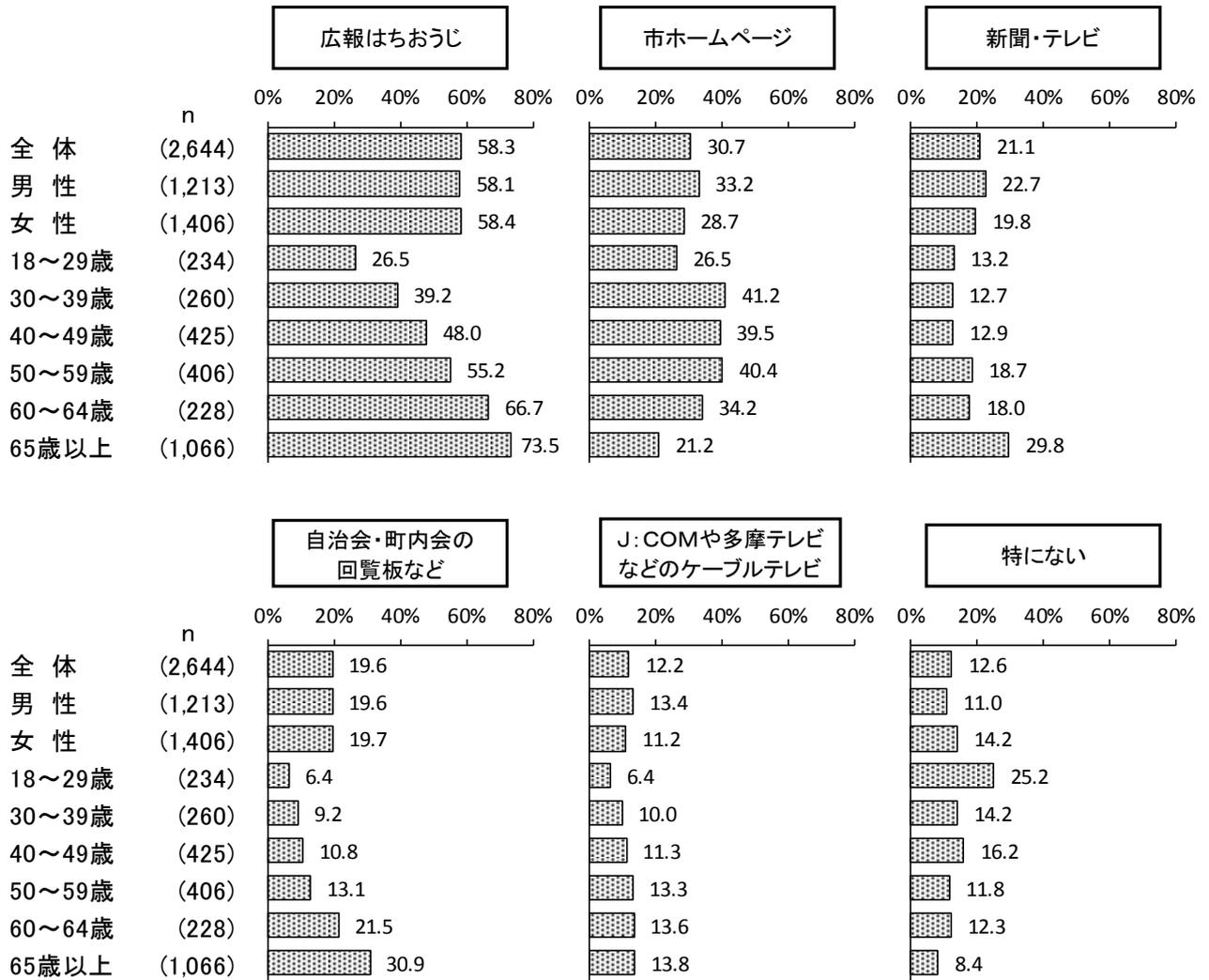
図2-9-1 今後充実させた方が良い広報媒体－全体



(注) 新規の設問のため、経年比較はない。

今後充実させた方が良いと思う広報媒体を聞いたところ、「広報はちおうじ」(58.3%)が最も多く6割近くとなっている。以下「市ホームページ」(30.7%)、「新聞・テレビ」(21.1%)、「自治会・町内会の回覧板など」(19.6%)などの順となっている。(図2-9-1)

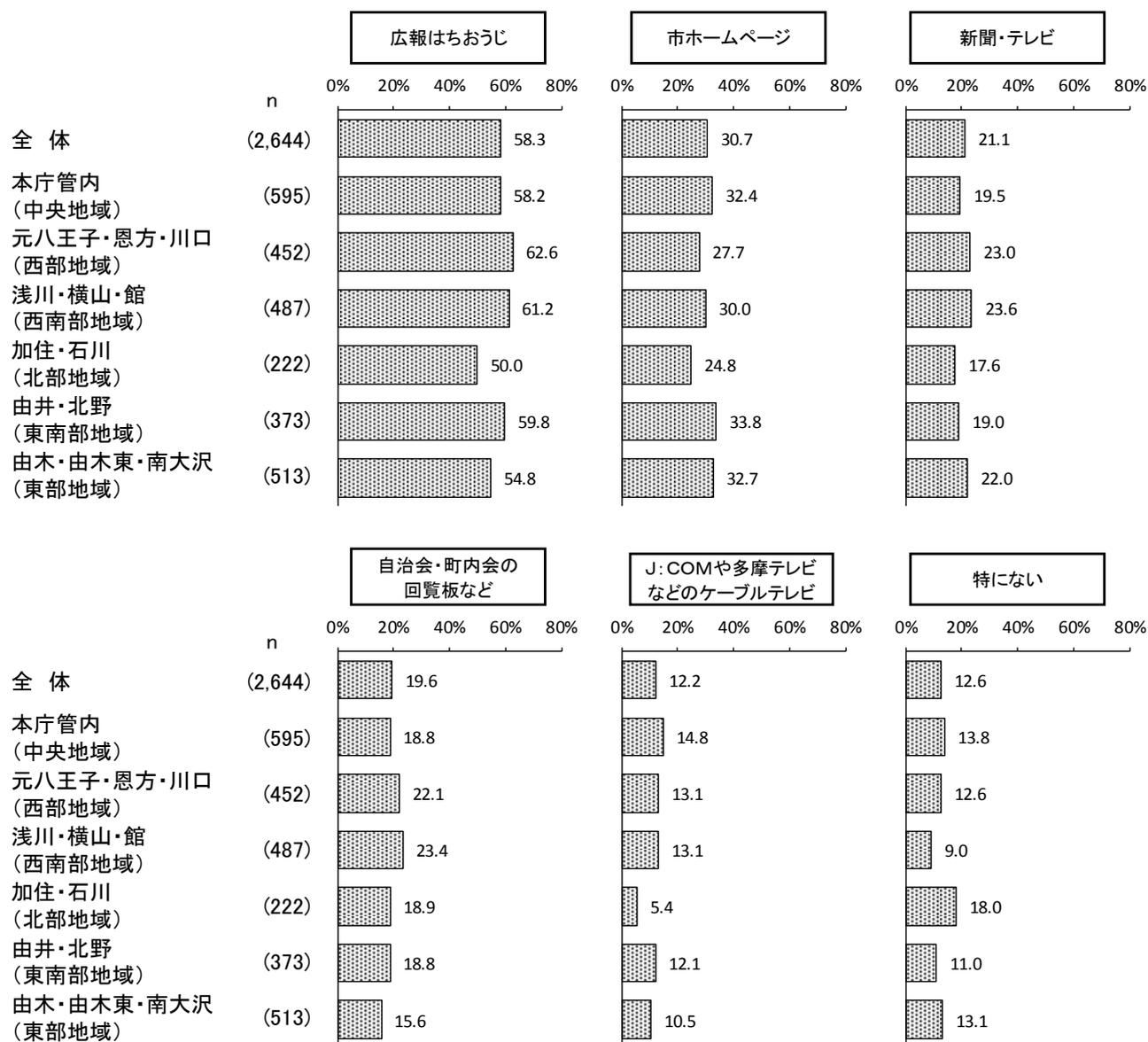
図2-9-2 今後充実させた方が良い広報媒体－性別、年齢別（上位5位＋「特にない」）



性別にみると、「市ホームページ」は男性（33.2%）が女性（28.7%）より4.5ポイント高くなっており、「新聞・テレビ」も男性（22.7%）が女性（19.8%）より2.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広報はちおうじ」は高い年代ほど割合が高くなっており、65歳以上（73.5%）で7割強と多くなっている。「市ホームページ」は30~39歳（41.2%）で4割強と最も多くなっており、「新聞・テレビ」は65歳以上（29.8%）で3割弱と多くなっている。また「自治会・町内会の回覧板など」も高い年代ほど割合が高くなっており、65歳以上（30.9%）で約3割と多くなっている。（図2-9-2）

図2-9-3 今後充実させた方がよい広報媒体－居住地域別（上位5位＋「特にない」）



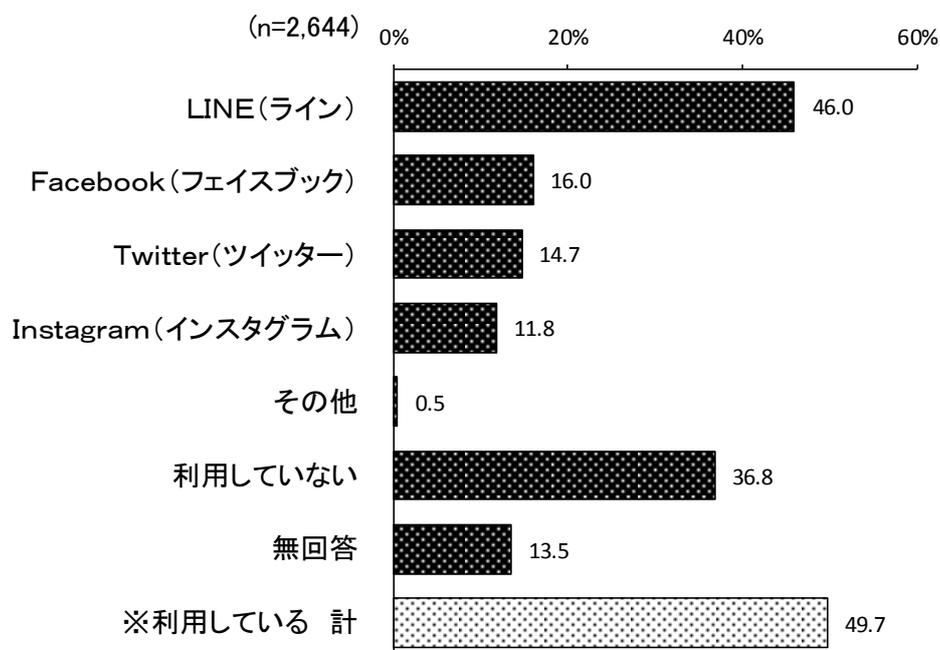
居住地域別にみると、「広報はちおうじ」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（62.6%）と浅川・横山・館（西南部地域）（61.2%）の両地域で6割強と多くっており、「市ホームページ」は由井・北野（東南部地域）（33.8%）で3割強と多くになっている。（図2-9-3）

(10) SNSの利用状況

◇「LINE (ライン)」が5割近く

問11 現在、あなたが利用しているSNSを教えてください。(〇はいくつでも)

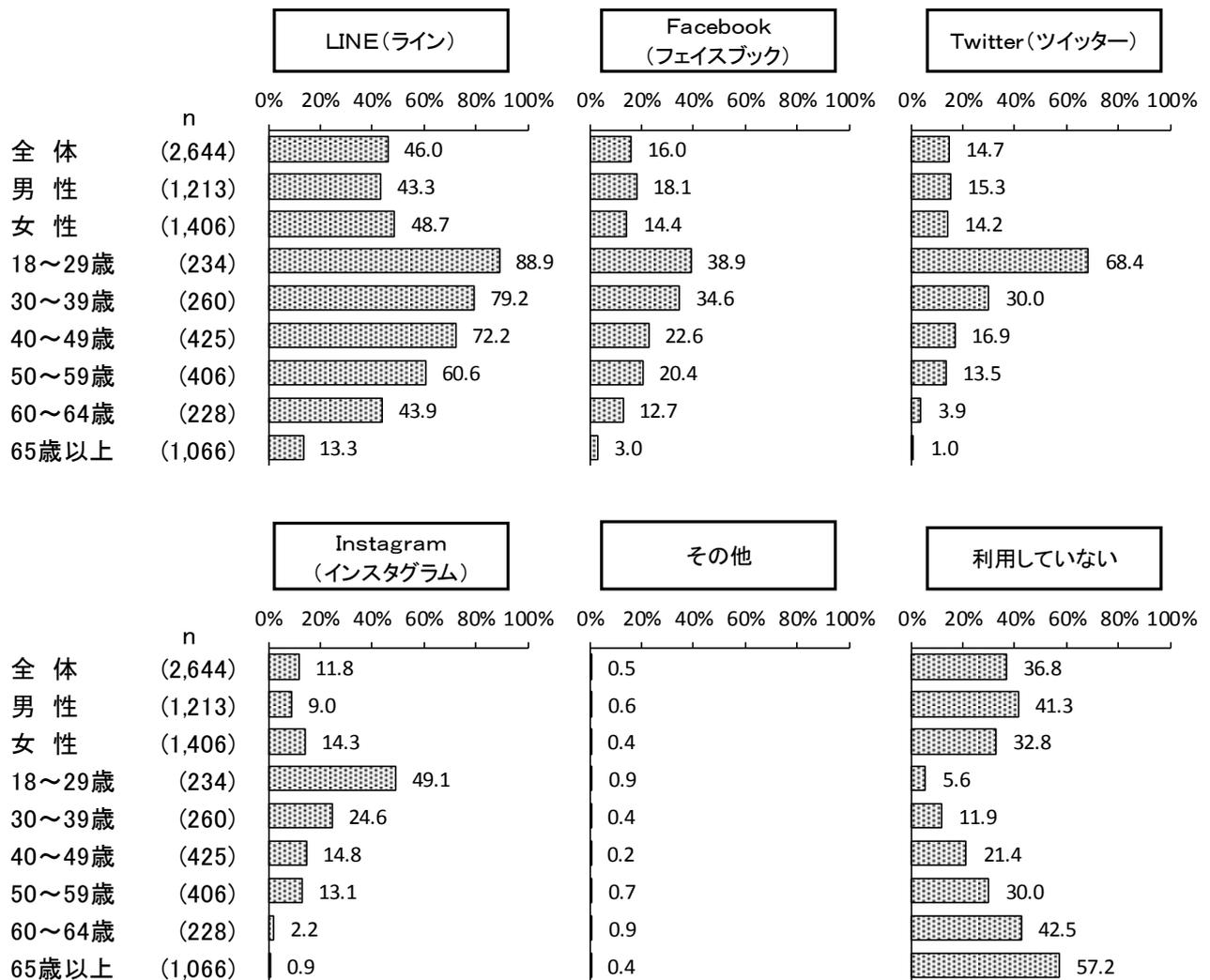
図2-10-1 SNSの利用状況－全体



(注) 新規の設問のため、経年比較はない。

SNSの利用状況を聞いたところ、「LINE (ライン)」(46.0%) が最も多く5割近くとなっている。以下、「Facebook (フェイスブック)」(16.0%)、「Twitter (ツイッター)」(14.7%)、「Instagram (インスタグラム)」(11.8%)の3種のSNSがいずれも1割台で続き、これらに「その他」(0.5%)を含めて、いずれかのSNSを「利用している」(49.7%)は5割弱となっている。一方、「利用していない」(36.8%)は4割近くとなっており、「無回答」(13.5%)も1割強となっている。(図2-10-1)

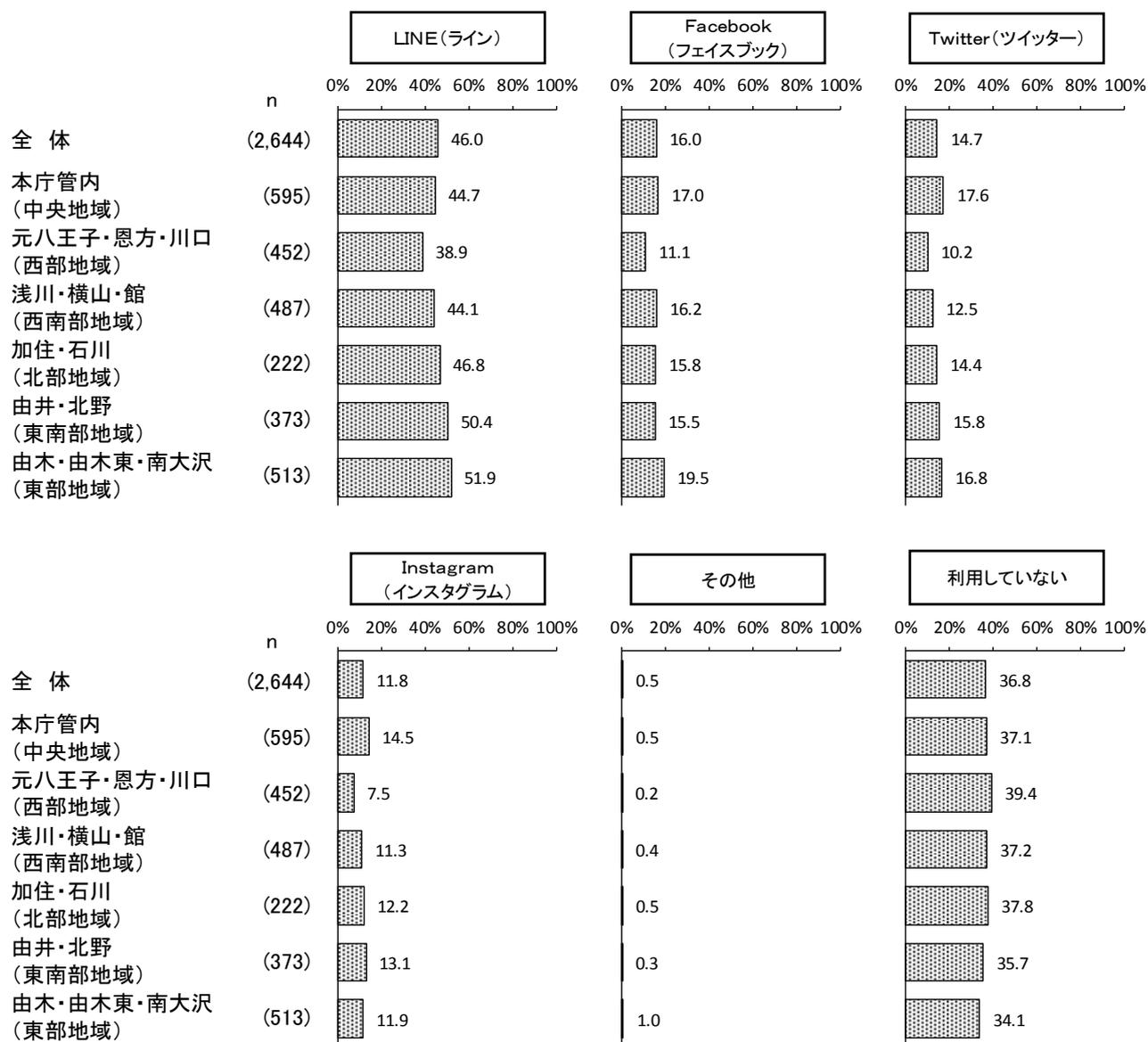
図 2-10-2 SNSの利用状況—性別、年齢別



性別にみると、「LINE(ライン)」は女性(48.7%)が男性(43.3%)より5.4ポイント高く、「Instagram(インスタグラム)」は女性(14.3%)が男性(9.0%)より5.3ポイント高くなっている。一方、「利用していない」は男性(41.3%)が女性(32.8%)より8.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「LINE(ライン)」「Facebook(フェイスブック)」「Twitter(ツイッター)」「Instagram(インスタグラム)」いずれも低い年代ほど割合が高くなっており、18~29歳で「LINE(ライン)」(88.9%)が9割近く、「Facebook(フェイスブック)」(38.9%)が4割近く、「Twitter(ツイッター)」(68.4%)が7割近く、「Instagram(インスタグラム)」(49.1%)が5割弱となっており、その割合はいずれも他年代を上回って最も高くなっている。逆に「利用していない」は年代が上がるにつれてその割合が高まり、65歳以上(57.2%)では6割近くとなっている。(図2-10-2)

図 2-10-3 SNSの利用状況—居住地域別



居住地域別にみると、「LINE (ライン)」は由木・由木東・南大沢 (東部地域) (51.9%) で、「Facebook (フェイスブック)」は由木・由木東・南大沢 (東部地域) (19.5%) で、「Twitter (ツイッター)」は本庁管内 (中央地域) (17.6%) で、それぞれ多くなっている。一方、「利用していない」は元八王子・恩方・川口 (西部地域) (39.4%) で多くなっている。

(図 2-10-3)

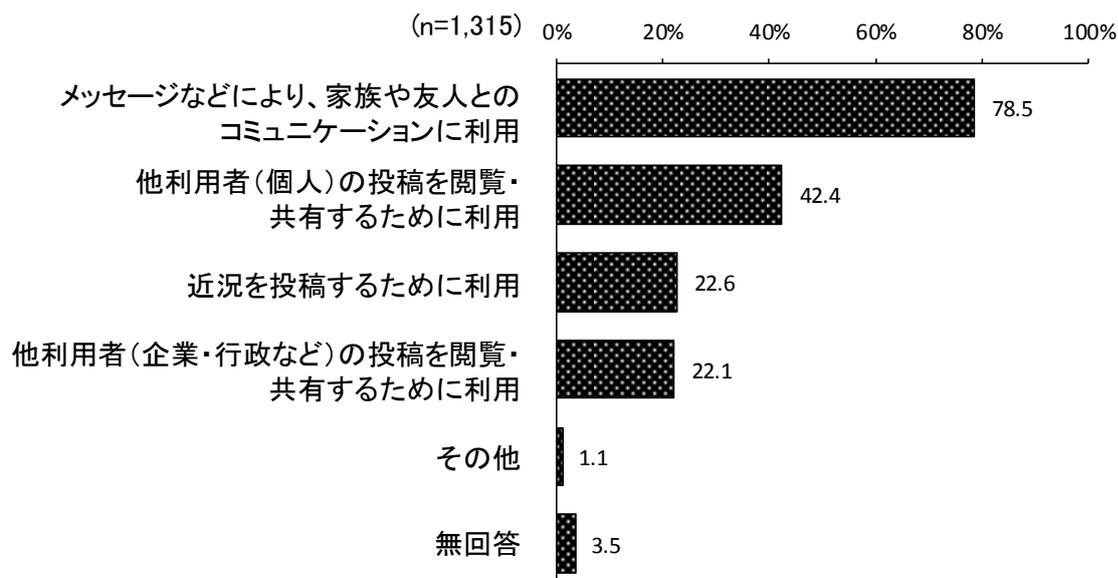
(11) SNSの利用方法

◇「メッセージなどにより、家族や友人とのコミュニケーションに利用」が8割近く

(問11で「Twitter (ツイッター)」「Facebook (フェイスブック)」「LINE (ライン)」「Instagram (インスタグラム)」「その他」とお答えの方に)

問11-1 SNSの利用方法について教えてください。(〇はいくつでも)

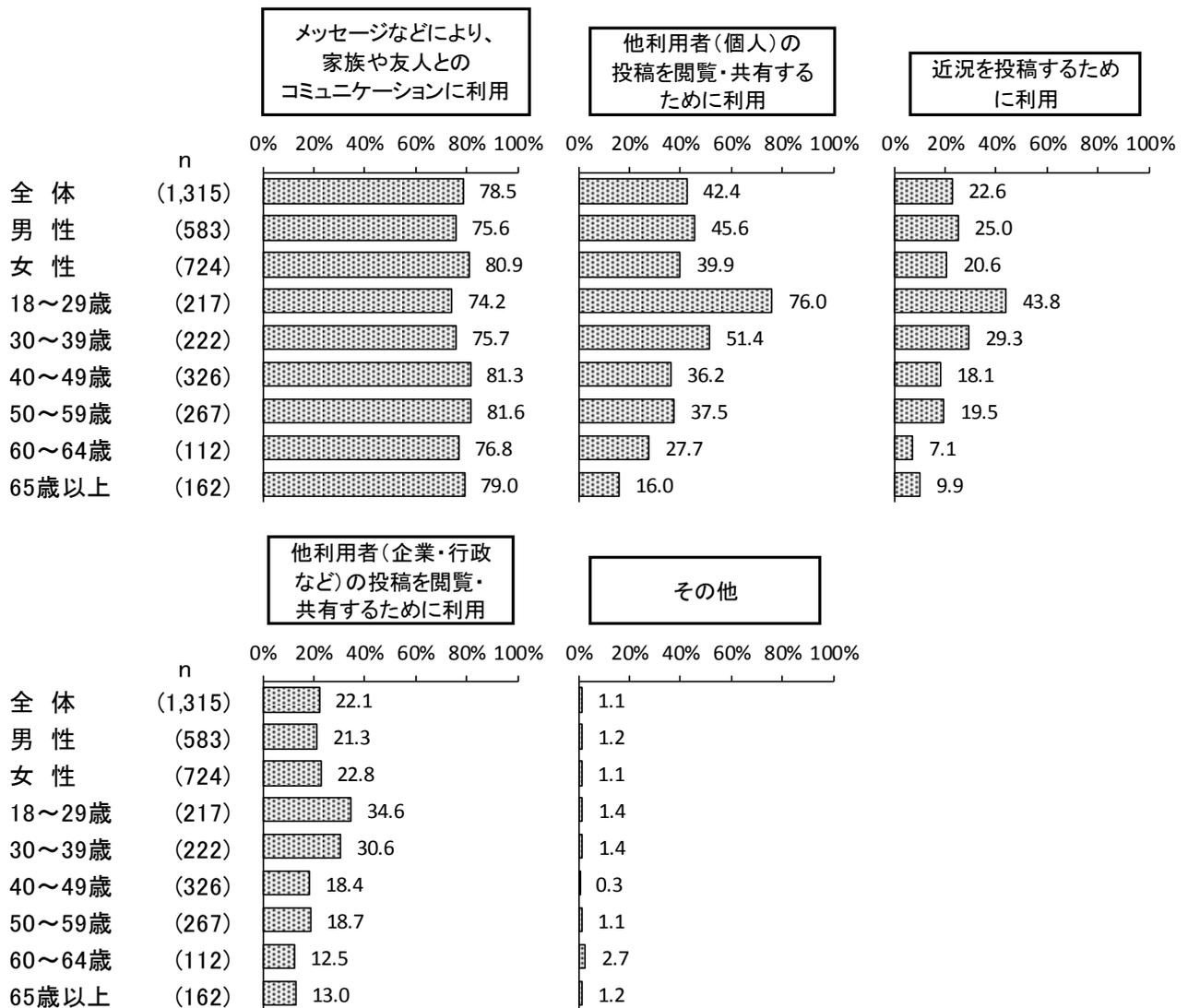
図2-11-1 SNSの利用方法-全体



(注) 新規の設問のため、経年比較はない。

何らかのSNSを利用していると回答した1,315人に、SNSの利用方法を聞いたところ、「メッセージなどにより、家族や友人とのコミュニケーションに利用」(78.5%)が最も多く8割近くとなっている。次いで「他利用者(個人)の投稿を閲覧・共有するために利用」(42.4%)が4割強で続き、以下「近況を投稿するために利用」(22.6%)と「他利用者(企業・行政など)の投稿を閲覧・共有するために利用」(22.1%)がともに2割強で並ぶ結果となっている。(図2-11-1)

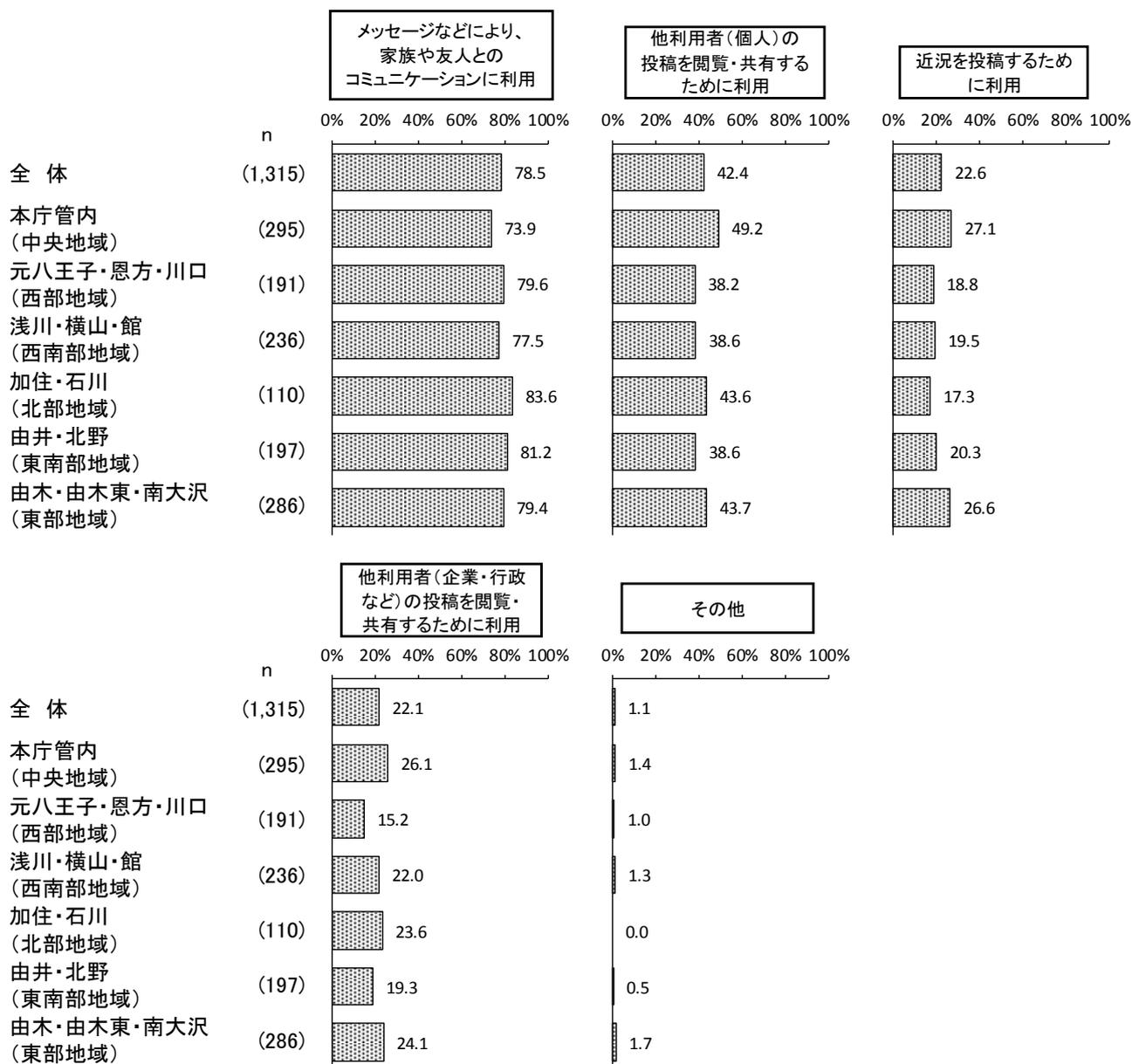
図 2-11-2 SNSの利用方法—性別、年齢別



性別にみると、「メッセージなどにより、家族や友人とのコミュニケーションに利用」は女性（80.9％）が男性（75.6％）より5.3ポイント高くなっている。「他利用者（個人）の投稿を閲覧・共有するために利用」は男性（45.6％）が女性（39.9％）より5.7ポイント高く、「近況を投稿するために利用」も男性（25.0％）が女性（20.6％）より4.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、18～29歳で「他利用者（個人）の投稿を閲覧・共有するために利用」（76.0％）が8割近く、「近況を投稿するために利用」（43.8％）が4割強、「他利用者（企業・行政など）の投稿を閲覧・共有するために利用」（34.6％）が3割台半ばと、それぞれ他年代を上回って最も多くなっている。（図 2-11-2）

図 2-11-3 SNSの利用方法—居住地域別



居住地域別にみると、「メッセージなどにより、家族や友人とのコミュニケーションに利用」は加住・石川（北部地域）（83.6%）で、「他利用者（個人）の投稿を閲覧・共有するために利用」は本庁管内（中央地域）（49.2%）で、それぞれ多くなっている。（図 2-11-3）

(12) 市の情報発信に関する意見（自由意見）

問12 市からの情報発信について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

（自由記述）

市の情報発信に関する意見を自由記述形式で聞いたところ、201人から回答があった。その中から抜粋した意見を掲載する。なお、内容については、記述の趣旨を損なわないように留意しながら一部要約したのものがある。

- 若い人は市政にふれる機会が少ないので、「広報はちおうじ」の特集で若者にスポットをあてたら良いのでは。（女性18～29歳）
- 穴場スポットや絶景スポットなど、地方から人を呼び込むような情報を発信してほしい。（男性18～29歳）
- 「広報はちおうじ」は、どの世代の人でも手に取れるものなので、内容を充実させてほしい。（女性30～39歳）
- 防災無線が聞き取りにくい。ホームページで内容を確認できるとよい。（女性30～39歳）
- 関心のある情報の種類を自分で選択し、新しい情報が入るとメールで配信されるサービスがあると良い。（女性30～39歳）
- 市のホームページで、目的の内容にたどりつきにくいことが多い。（女性30～39歳）
- 今の時代に、回覧板は必要なのだろうか。（女性30～39歳）
- 八王子広報のツイートは、若者向けにもう少しユーモアのある内容で発信すると良い。ゆるキャラなどの別アカウントを使ってもいいと思う。（男性40～49歳）
- 市内で行われている市民や民間メインのイベントの情報ももっと発信してほしい。（男性40～49歳）
- 多摩テレビなどのケーブルテレビで八王子の情報発信が少ない。（女性40～49歳）
- 防災行政無線が聞き取りづらいので、放送の内容をメールなどでも配信してほしい。（男性40～49歳）
- 不審者情報などの配信のタイミングが遅い。（女性40～49歳）
- 市も小・中学校もLINEを活用したほうが良い。（女性40～49歳）
- 八王子の豊かな自然を観光につなげて集客することに力を入れると良い。スポーツチームもあり、アピールすることが多くあると思う。（女性50～59歳）
- 今後、高齢化が進む中では、住民相互の連携も含めて、ボランティア活動などの相互扶助を積極的に「広報はちおうじ」で展開するのが良いと思う。（男性50～59歳）
- 防災無線が他地域の防災無線の音声と重なって聞き取れない。防災無線の音の方向や音量を調整してほしい。（男性50～59歳）
- 高齢者（60～70歳）の採用情報、ボランティア参加情報を充実してほしい。（男性60～64歳）
- 市のホームページを、高齢者にもより分かりやすくしてほしい。（男性65歳以上）
- 道路や公共施設などの建設計画を随時知らせてほしい。（男性65歳以上）
- インターネットを使わない人たちにも情報が行き渡るように取組むことが大切。（女性65歳以上）
- 新しい施設を作る時、新しい企画を始める時に、もっと市民の要望・希望・アイデアを集めた方がよい。特に駅周辺の街作りには、大半の市民が不満を持っていると思う。ホームページやSNSなどで、市民の声を集めることは可能だと思う。（女性65歳以上）
- 月2回の「広報はちおうじ」は月1回にして簡素化してムダを省くべき。（男性65歳以上）
- 高齢者向けのイベントや講座のお知らせなどの情報をメールで配信してほしい。（女性65歳以上）